

第3章 市場規模調査に関する参考資料

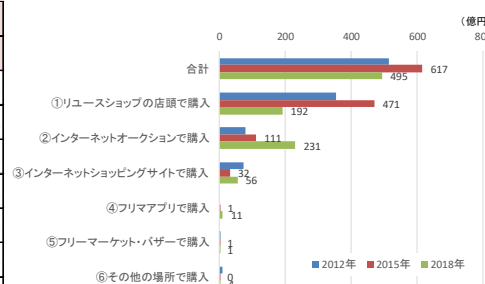
1. 品目別、流通経路別のリユース市場規模の推移

(1) 家具類

- 「家具類」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で20%増、2018年/2015年で20%減となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約5割(46.7%)、次いで「リユースショップの店頭で購入」が約4割(38.9%)、両方で9割近くを占める。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」が大幅に増加(2018年/2015年で107%増)、「リユースショップの店頭で購入」が減少(同59%減)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は大幅に伸びているが(同656%増)、リユース市場全体に占める割合は限定的である(約2%)。

図表 133 「家具類」の流通経路別の市場規模推移

家具類	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	515	617	495	102	-122	20%	-20%
①リユースショップの店頭で購入	353	471	192	118	-279	33%	-59%
②インターネットオークションで購入	78	111	231	34	120	43%	107%
③インターネットショッピングサイトで購入	72	32	56	-40	24	-56%	76%
④フリマアプリで購入	-	1	11	-	9	-	656%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	4	1	1	-3	0	-82%	15%
⑥その他の場所以で購入	8	0	4	-8	3	-95%	836%

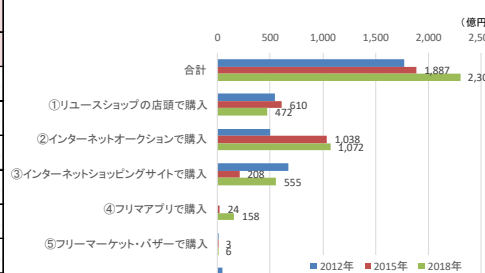


(2) ブランド品

- 「ブランド品」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で6%増、2018年/2015年で22%増となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約5割(46.6%)を占める。
- 推移を見ると「インターネットショッピングサイトで購入」が大幅に増加(2018年/2015年で166%増)、「リユースショップの店頭で購入」は減少(同23%減)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は大幅に伸びており(同571%増)、リユース市場全体に占める割合は他の品目と比較すると大きい(約7%)。

図表 134 「ブランド品」の流通経路別の市場規模推移

ブランド品	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	1,774	1,887	2,301	114	414	6%	22%
①リユースショップの店頭で購入	551	610	472	60	-139	11%	-23%
②インターネットオークションで購入	502	1,038	1,072	537	34	107%	3%
③インターネットショッピングサイトで購入	672	208	555	-463	347	-69%	166%
④フリマアプリで購入	-	24	158	-	134	-	571%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	3	3	6	1	3	22%	80%
⑥その他の場所以で購入	47	3	37	-43	34	-93%	1113%

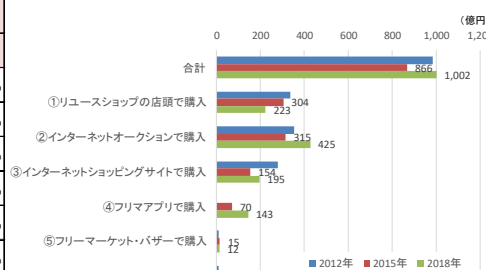


(3) ブランド品を除く衣類・服飾品

- 「ブランド品を除く衣類・服飾品」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で12%減、2018年/2015年で16%増となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約4割(42.4%)、次いで「リユースショップの店頭で購入」、「インターネットショッピングサイトで購入」がそれぞれ約2割(22.3%、19.4%)と続く。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」、「インターネットショッピングサイトで購入」が増加(2018年/2015年でそれぞれ35%増、26%増)、「リユースショップの店頭で購入」は減少(同27%減)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は伸びており(同103%増)、リユース市場全体に占める割合は他の品目と比較すると大きい(約14%)。

図表 135 「ブランド品を除く衣類・服飾品」の流通経路別の市場規模推移

ブランド品を除く衣類・服飾品	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	983	866	1,002	-117	136	-12%	16%
①リユースショップの店頭で購入	334	304	223	-29	-81	-9%	-27%
②インターネットオークションで購入	353	315	425	-38	110	-11%	35%
③インターネットショッピングサイトで購入	280	154	195	-125	40	-45%	26%
④フリマアプリで購入	-	70	143	-	72	-	103%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	9	15	12	6	-3	68%	-20%
⑥その他の場所で購入	7	7	5	-1	-2	-7%	-31%

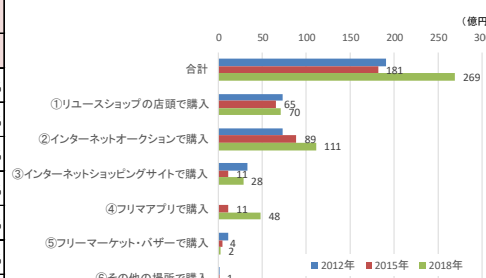


(4) ベビー・子供用品

- 「ベビー・子供用品」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で5%減、2018年/2015年で48%増となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約4割(41.2%)、次いで「リユースショップの店頭で購入」(26.2%)、「フリマアプリで購入」(17.8%)と続く。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」が増加(2018年/2015年で25%増)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は大幅に伸びており(同325%増)、リユース市場全体に占める割合は他の品目と比較すると大きい(約18%)。

図表 136 「ベビー・子供用品」の流通経路別の市場規模推移

ベビー・子供用品	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	191	181	269	-9	88	-5%	48%
①リユースショップの店頭で購入	73	65	70	-8	5	-11%	8%
②インターネットオークションで購入	73	89	111	16	22	21%	25%
③インターネットショッピングサイトで購入	32	11	28	-21	17	-66%	154%
④フリマアプリで購入	-	11	48	-	37	-	325%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	11	4	2	-7	-2	-64%	-44%
⑥その他の場所で購入	1	1	9	0	9	28%	1110%

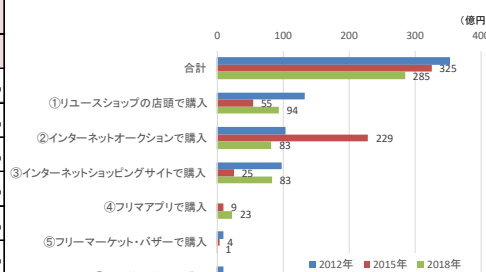


(5) 日用品・生活雑貨

- 「日用品・生活雑貨」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で8%減、2018年/2015年で12%減となっている。
- 流通経路別に見ると「リユースショップの店頭で購入」「インターネットショッピングサイトで購入」「インターネットオークションで購入」がそれぞれ3割程度（32.9%、29.2%、29.0%）となっている。
- 推移を見ると「リユースショップの店頭で購入」「インターネットショッピングサイトで購入」が増加（2018年/2015年でそれぞれ71%増、229%増）、「インターネットオークションで購入」が減少（同64%減）となっている。
- 「フリマアプリで購入」は伸びており（同146%増）、リユース市場全体に占める割合は他の品目と比較すると大きい（約8%）。

図表 137 「日用品・生活雑貨」の流通経路別の市場規模推移

日用品・生活雑貨	市場規模（億円）			増減（億円）		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	354	325	285	-29	-40	-8%	-12%
①リユースショップの店頭で購入	133	55	94	-78	39	-59%	71%
②インターネットオークションで購入	104	229	83	126	-147	121%	-64%
③インターネットショッピングサイトで購入	98	25	83	-73	58	-74%	229%
④フリマアプリで購入	-	9	23	-	14	-	146%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	10	4	1	-6	-3	-58%	-69%
⑥その他の場所で購入	10	3	1	-7	-2	-71%	-57%

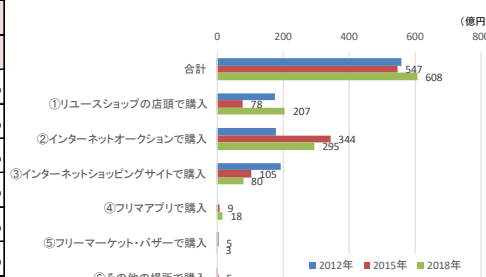


(6) スポーツ・レジャー用品

- 「スポーツ・レジャー用品」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で2%減、2018年/2015年で11%増となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約5割（48.5%）、次いで「リユースショップの店頭で購入」が3.5割程度（34.0%）となっている。
- 推移を見ると「リユースショップの店頭で購入」が増加（2018年/2015年で164%増）となっている。
- 「フリマアプリで購入」は伸びているが（同92%増）、リユース市場全体に占める割合は限定的である（約3%）。

図表 138 「スポーツ・レジャー用品」の流通経路別の市場規模推移

スポーツ・レジャー用品	市場規模（億円）			増減（億円）		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	558	547	608	-11	61	-2%	11%
①リユースショップの店頭で購入	177	78	207	-99	128	-56%	164%
②インターネットオークションで購入	179	344	295	166	-49	93%	-14%
③インターネットショッピングサイトで購入	195	105	80	-90	-25	-46%	-24%
④フリマアプリで購入	-	9	18	-	9	-	92%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	5	5	3	0	-2	0%	-38%
⑥その他の場所で購入	2	5	5	3	1	134%	14%

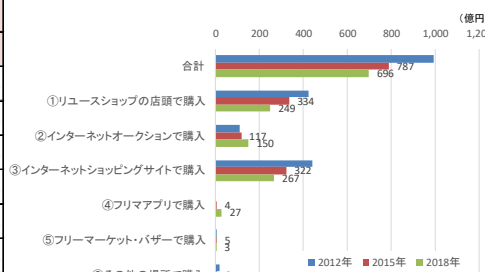


(7) 書籍

- 「書籍」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で21%減、2018年/2015年で11%減となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットショッピングサイトで購入」が最も多く、約4割（38.3%）、次いで「リユースショップの店頭で購入」が3.5割（35.7%）となっている。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」が増加（2018年/2015年で29%増）、「リユースショップの店頭で購入」「インターネットショッピングサイトで購入」が減少（それぞれ同25%減、17%減）となっている。
- 「フリマアプリで購入」は急激に伸びているが（同591%増）、リユース市場全体に占める割合は限定的である（約4%）。

図表 139 「書籍」の流通経路別の市場規模推移

書籍	市場規模（億円）			増減（億円）		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	994	787	696	-207	-90	-21%	-11%
①リユースショップの店頭で購入	425	334	249	-91	-85	-21%	-25%
②インターネットオークションで購入	111	117	150	5	34	5%	29%
③インターネットショッピングサイトで購入	438	322	267	-117	-55	-27%	-17%
④フリマアプリで購入	-	4	27	-	23	-	591%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	3	5	3	2	-2	70%	-40%
⑥その他の場所で購入	17	6	0	-11	-5	-66%	-96%

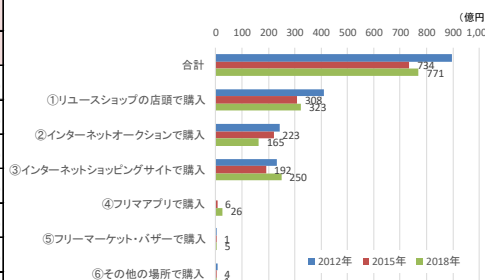


(8) ソフト・メディア類

- 「ソフト・メディア類」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で18%減、2018年/2015年で5%増となっている。
- 流通経路別に見ると「リユースショップの店頭で購入」が最も多く、約4割（42.0%）、次いで「インターネットショッピングサイトで購入」が約3割（32.4%）となっている。
- 推移を見ると「インターネットショッピングサイトで購入」が増加（2018年/2015年で30%増）、「インターネットオークションで購入」が減少（同26%減）となっている。
- 「フリマアプリで購入」は急激に伸びているが（同315%増）、リユース市場全体に占める割合は限定的である（約3%）。

図表 140 「ソフト・メディア類」の流通経路別の市場規模推移

ソフト・メディア類	市場規模（億円）			増減（億円）		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	897	734	771	-163	37	-18%	5%
①リユースショップの店頭で購入	411	308	323	-104	15	-25%	5%
②インターネットオークションで購入	243	223	165	-20	-58	-8%	-26%
③インターネットショッピングサイトで購入	232	192	250	-40	58	-17%	30%
④フリマアプリで購入	-	6	26	-	20	-	315%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	5	1	5	-4	4	-84%	532%
⑥その他の場所で購入	6	4	1	-3	-2	-42%	-61%

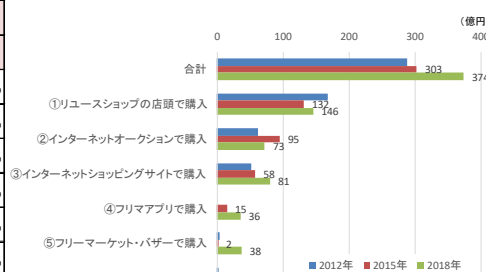


(9) ゲーム機器

- 「ゲーム機器」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で5%増、2018年/2015年で23%増となっている。
- 流通経路別に見ると「リユースショップの店頭で購入」が最も多く、約4割(39.0%)、「インターネットショッピングサイトで購入」「インターネットオークションで購入」がそれぞれ2割程度(21.5%、19.5%)となっている。
- 推移を見ると「リユースショップの店頭で購入」「インターネットショッピングサイトで購入」が増加(2018年/2015年でそれぞれ11%増、38%増)、「インターネットオークションで購入」が減少(同24%減)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は伸びており(同134%増)、リユース市場全体に占める割合は他の品目と比較すると大きい(約10%)。

図表 141 「ゲーム機器」の流通経路別の市場規模推移

ゲーム機器	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	289	303	374	14	71	5%	23%
①リユースショップの店頭で購入	168	132	146	-36	14	-22%	11%
②インターネットオークションで購入	62	95	73	33	-22	53%	-24%
③インターネットショッピングサイトで購入	52	58	81	6	22	12%	38%
④フリマアプリで購入	-	15	36	-	20	-	134%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	4	2	38	-1	35	-39%	1567%
⑥その他の場所で購入	3	0	1	-3	1	-100%	-

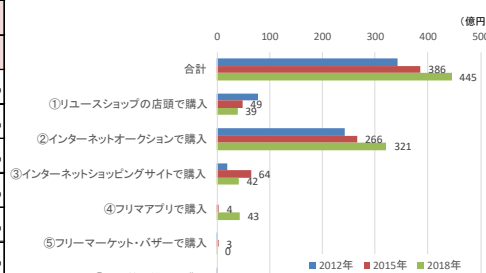


(10) 玩具・模型

- 「玩具・模型」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で13%増、2018年/2015年で15%増となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約7割(72.1%)を占める。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」が増加(2018年/2015年で21%増)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は急激に伸びており(同1,099%増)、リユース市場全体に占める割合は他の品目と比較すると大きい(約10%)。

図表 142 「玩具・模型」の流通経路別の市場規模推移

玩具・模型	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	342	386	445	43	59	13%	15%
①リユースショップの店頭で購入	77	49	39	-29	-10	-37%	-20%
②インターネットオークションで購入	243	266	321	23	55	9%	21%
③インターネットショッピングサイトで購入	20	64	42	45	-23	225%	-36%
④フリマアプリで購入	-	4	43	-	39	-	1099%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	1	3	0	2	-3	153%	-90%
⑥その他の場所で購入	1	0	0	-1	0	-95%	504%

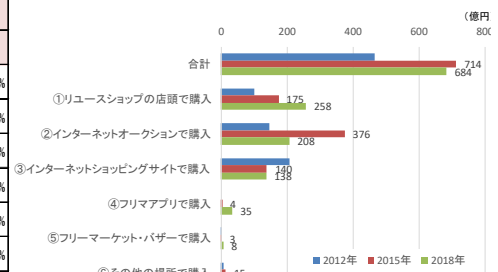


(11) カメラ・周辺機器

- 「カメラ・周辺機器」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で53%増、2018年/2015年で4%減となっている。
- 流通経路別に見ると「リユースショップの店頭で購入」が最も多く、約4割(37.7%)、次いで「インターネットオークションで購入」(30.4%)、「インターネットショッピングサイトで購入」(20.2%)と続く。
- 推移を見ると「リユースショップの店頭で購入」が増加(2018年/2015年で47%増)、「インターネットオークションで購入」が減少(同45%減)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は急激に伸びているが(同750%増)、リユース市場全体に占める割合は限定的である(約5%)。

図表 143 「カメラ・周辺機器」の流通経路別の市場規模推移

カメラ・周辺機器	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	466	714	684	248	-30	53%	-4%
①リユースショップの店頭で購入	101	175	258	75	83	74%	47%
②インターネットオークションで購入	147	376	208	229	-168	156%	-45%
③インターネットショッピングサイトで購入	209	140	138	-69	-2	-33%	-2%
④フリマアプリで購入	-	4	35	-	31	-	750%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	3	3	8	0	5	-1%	161%
⑥その他の場所で購入	7	15	37	8	22	121%	142%

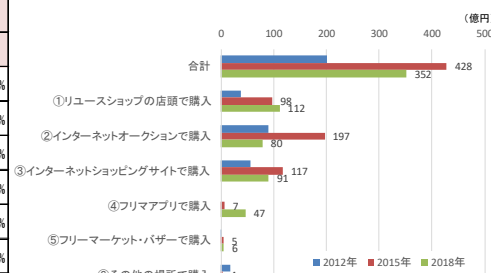


(12) 携帯電話・スマートフォン

- 「携帯電話・スマートフォン」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で113%増、2018年/2015年で18%減となっている。
- 流通経路別に見ると「リユースショップの店頭で購入」が最も多く、約3割(31.8%)、次いで「インターネットショッピングサイトで購入」(25.9%)、「インターネットオークションで購入」(22.6%)と続く。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」、「インターネットショッピングサイトで購入」が減少(2018年/2015年でそれぞれ60%減、22%減)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は急激に伸びているが(同527%増)、リユース市場全体に占める割合は限定的である(約2%)。

図表 144 「携帯電話・スマートフォン」の流通経路別の市場規模推移

携帯電話・スマートフォン	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	201	428	352	227	-77	113%	-18%
①リユースショップの店頭で購入	37	98	112	60	14	162%	14%
②インターネットオークションで購入	91	197	80	106	-117	117%	-60%
③インターネットショッピングサイトで購入	55	117	91	62	-26	112%	-22%
④フリマアプリで購入	-	7	47	-	40	-	527%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	0	5	6	5	1	1036%	13%
⑥その他の場所で購入	17	4	16	-14	13	-79%	344%

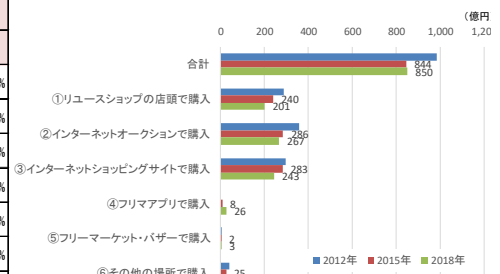


(13) パソコン・周辺機器

- 「パソコン・周辺機器」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で14%減、2018年/2015年で1%増となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約3割(31.4%)、次いで「インターネットショッピングサイトで購入」(28.6%)、「リユースショップの店頭で購入」(23.6%)と続く。
- 上記3つの流通経路別の推移を見るといずれも減少(2018年/2015年でそれぞれ7%減、14%減、16%減)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は伸びているが(同219%増)、リユース市場全体に占める割合は限定的である(約3%)。

図表 145 「パソコン・周辺機器」の流通経路別の市場規模推移

パソコン・周辺機器	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	983	844	850	-139	6	-14%	1%
①リユースショップの店頭で購入	286	240	201	-46	-39	-16%	-16%
②インターネットオークションで購入	357	286	267	-71	-19	-20%	-7%
③インターネットショッピングサイトで購入	299	283	243	-16	-39	-5%	-14%
④フリマアプリで購入	-	8	26	-	18	-	219%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	1	2	3	1	1	188%	56%
⑥その他の場所以で購入	41	25	110	-15	85	-38%	336%

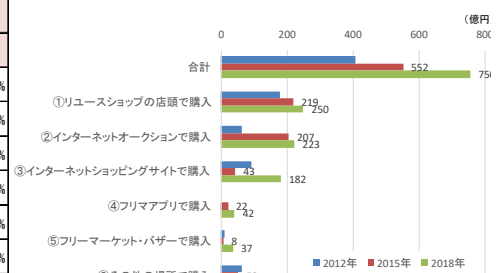


(14) テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫、エアコン

- 「テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫、エアコン」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で35%増、2018年/2015年で37%増となっている。
- 流通経路別に見ると「リユースショップの店頭で購入」が最も多く、約3割(33.1%)、次いで「インターネットオークションで購入」(29.5%)、「インターネットショッピングサイトで購入」(24.1%)と続く。
- 上記3つの流通経路別の推移を見るといずれも増加(2018年/2015年でそれぞれ14%増、8%増、320%増)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は伸びており(同92%増)、リユース市場全体に占める割合は他の品目と比較すると大きい(約6%)。

図表 146 「テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫」の流通経路別の市場規模推移

テレビ、洗濯機、冷蔵庫、エアコン	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	408	552	756	144	204	35%	37%
①リユースショップの店頭で購入	179	219	250	40	31	23%	14%
②インターネットオークションで購入	62	207	223	144	16	231%	8%
③インターネットショッピングサイトで購入	93	43	182	-50	139	-53%	320%
④フリマアプリで購入	-	22	42	-	20	-	92%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	11	8	37	-3	28	-24%	344%
⑥その他の場所以で購入	63	53	22	-10	-31	-15%	-58%

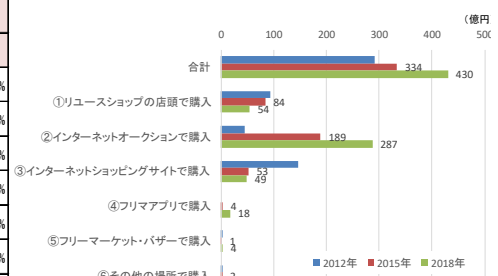


(15) その他の家電製品

- 「その他の家電製品」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で14%増、2018年/2015年で29%増となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約7割(66.7%)を占めている。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」は増加(2018年/2015年で52%増)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は急激に伸びているが(同346%増)、リユース市場全体に占める割合は限定的である(約4%)。

図表 147 「その他の家電製品」の流通経路別の市場規模推移

その他の家電製品	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	291	334	430	42	97	14%	29%
①リユースショップの店頭で購入	94	84	54	-9	-30	-10%	-35%
②インターネットオークションで購入	45	189	287	144	98	319%	52%
③インターネットショッピングサイトで購入	146	53	49	-94	-4	-64%	-7%
④フリマアプリで購入	-	4	18	-	14	-	346%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	3	1	4	-2	3	-62%	209%
⑥その他の場所で購入	3	2	18	-1	16	-21%	627%

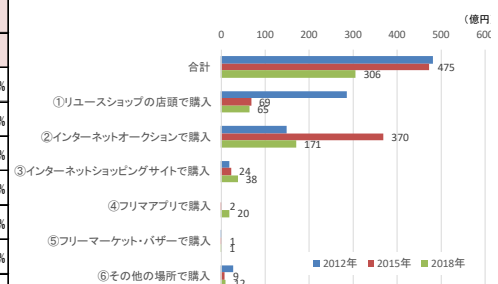


(16) 自転車、自転車部品・パーツ

- 「自転車、自転車部品・パーツ」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で2%減、2018年/2015年で36%減となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約6割(55.8%)を占めている。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」は減少(2018年/2015年で54%減)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は急激に伸びており(同1,021%増)、リユース市場全体に占める割合は他の品目と比較すると大きい(約7%)。

図表 148 「自転車、自転車部品・パーツ」の流通経路別の市場規模推移

自転車、自転車部品・パーツ	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	483	475	306	-9	-169	-2%	-36%
①リユースショップの店頭で購入	287	69	65	-218	-4	-76%	-5%
②インターネットオークションで購入	150	370	171	220	-199	146%	-54%
③インターネットショッピングサイトで購入	18	24	38	5	14	29%	61%
④フリマアプリで購入	-	2	20	-	18	-	1021%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	1	1	1	1	-1	77%	-48%
⑥その他の場所で購入	27	9	12	-18	2	-66%	24%

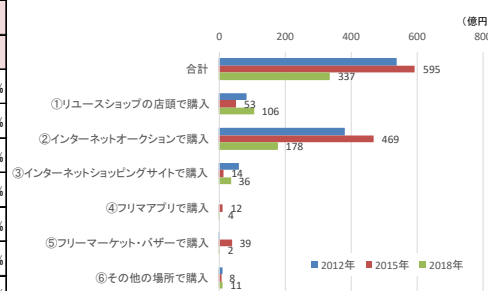


(17) カー用品

- 「カー用品」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で11%増、2018年/2015年で43%減となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションで購入」が最も多く、約5割(52.8%)、次いで「リユースショップの店頭で購入」が約3割(31.3%)となっている。
- 推移を見ると「インターネットオークションで購入」は減少(2018年/2015年で62%減)、「リユースショップの店頭で購入」は増加(同101%)となっている。
- 「フリマアプリで購入」は減少しており(同67%減)、リユース市場全体に占める割合は限定的である(約1%)。

図表 149 「カー用品」の流通経路別の市場規模推移

カー用品	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	538	595	337	57	-258	11%	-43%
①リユースショップの店頭で購入	83	53	106	-31	53	-37%	101%
②インターネットオークションで購入	381	469	178	88	-291	23%	-62%
③インターネットショッピングサイトで購入	61	14	36	-48	23	-78%	164%
④フリマアプリで購入	-	12	4	-	-8	-	-67%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	1	39	2	38	-37	5379%	-95%
⑥その他の場所以で購入	11	8	11	-2	3	-22%	35%

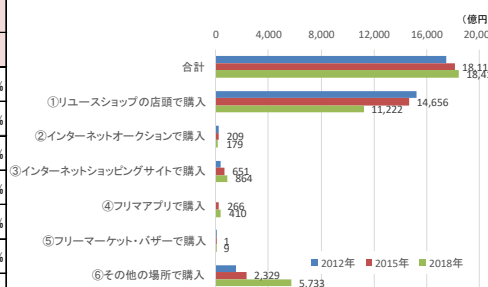


(18) 自動車

- 「自動車」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で4%増、2018年/2015年で2%増となっている。
- 流通経路別に見ると「リユースショップの店頭で購入」(※自動車においてはカーディーラー等)が最も多く、約6割(60.9%)を占めている。
- 推移を見ると「リユースショップの店頭で購入」は減少(2018年/2015年で23%減)となっている。

図表 150 「自動車」の流通経路別の市場規模推移

自動車	市場規模(億円)			増減(億円)		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	17,454	18,112	18,417	658	305	4%	2%
①リユースショップの店頭で購入	15,259	14,656	11,222	-603	-3,434	-4%	-23%
②インターネットオークションで購入	250	209	179	-41	-29	-17%	-14%
③インターネットショッピングサイトで購入	379	651	864	272	213	72%	33%
④フリマアプリで購入	-	266	410	-	144	-	54%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	17	1	9	-16	7	-93%	682%
⑥その他の場所以で購入	1,549	2,329	5,733	781	3,404	50%	146%

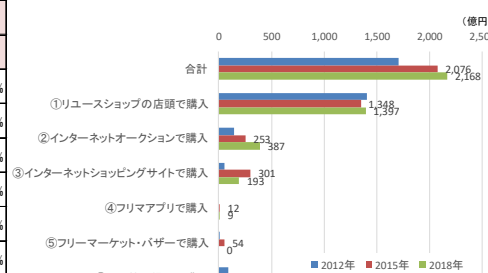


(19) バイク、原付バイク

- 「バイク、原付バイク」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で22%増、2018年/2015年で4%増となっている。
- 流通経路別に見ると「リユースショップの店頭で購入」が最も多く、約6割（64.4%）を占めている。
- 推移を見ると「リユースショップの店頭で購入」は減少（2018年/2015年で4%増）となっている。

図表 151 「バイク、原付バイク」の流通経路別の市場規模推移

バイク、原付バイク	市場規模（億円）			増減（億円）		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	1,706	2,076	2,168	371	92	22%	4%
①リユースショップの店頭で購入	1,409	1,348	1,397	-60	49	-4%	4%
②インターネットオークションで購入	147	253	387	106	134	72%	53%
③インターネットショッピングサイトで購入	56	301	193	245	-108	441%	-36%
④フリマアプリで購入	-	12	9	-	-4	-	-30%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	1	54	0	53	-54	8981%	-100%
⑥その他の場所で購入	94	108	183	15	75	15%	69%

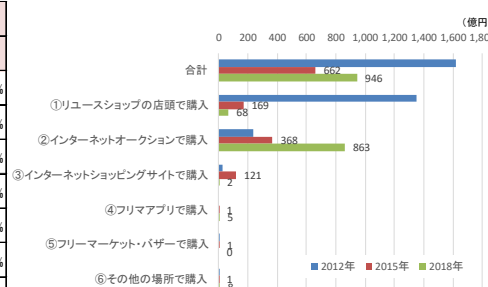


(20) その他

- 「その他」のリユース品の市場規模は、2015年/2012年で59%減、2018年/2015年で43%増となっている。
- 流通経路別に見ると「インターネットオークションサイトで購入」が最も多く、約9割を占めており（91.3%）、推移を見ると増加（2018年/2015年で134%増）している。

図表 152 「その他」の流通経路別の市場規模推移

その他	市場規模（億円）			増減（億円）		増減率	
	2012年	2015年	2018年	2015-12 増減	2018-15 増減	2015/12 増減率	2018/15 増減率
合計	1,621	662	946	-959	284	-59%	43%
①リユースショップの店頭で購入	1,355	169	68	-1,186	-101	-88%	-60%
②インターネットオークションで購入	237	368	863	131	495	55%	134%
③インターネットショッピングサイトで購入	28	121	2	92	-119	326%	-98%
④フリマアプリで購入	-	1	5	-	4	-	354%
⑤フリーマーケット・バザーで購入	0	1	0	1	-1	363%	-100%
⑥その他の場所で購入	1	1	8	0	7	41%	948%



2. 使用済製品の品目別排出・流通実態の推計

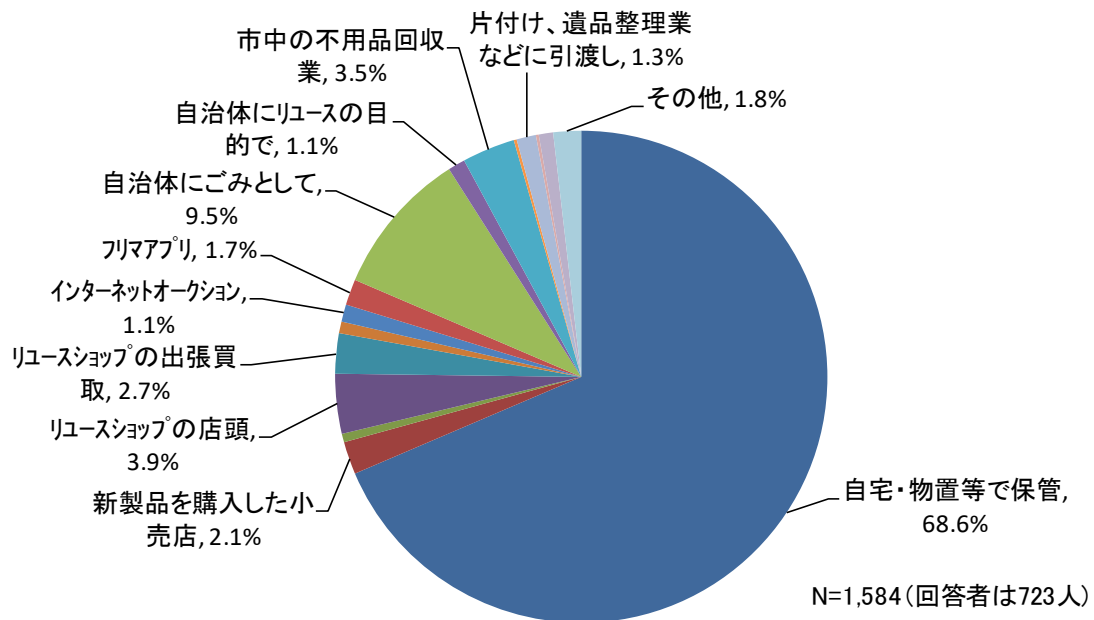
- 消費者モニターアンケートを踏まえた品目別の排出・流通実態の推計結果を以下に整理する。
- 以下は副次的に集計したものである。

(1) 家具類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家具類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった家具類の個数は1,584個（723人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く68.6%、次いで「自治体にごみとして排出」が9.5%、「リユースショップの店頭で売却」が3.9%と続く。

図表 153 不用となった家具類の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
 ※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

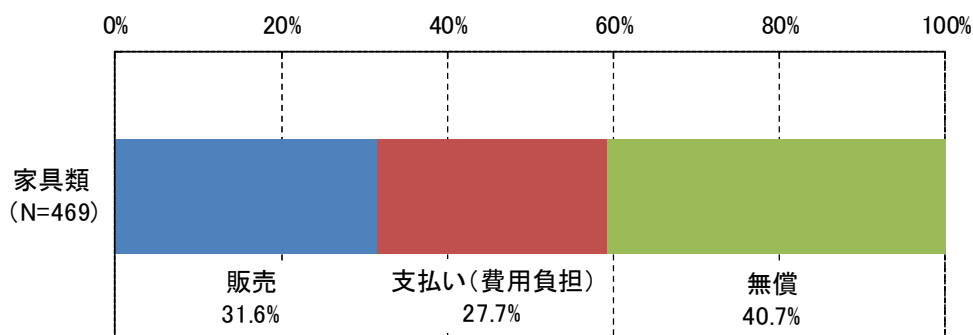
不用となった家具類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 40.7%、次いで「販売」が 31.6%、「支払い（費用負担）」は 27.7%となっている（図表 154）。また、「販売」の際の平均単価は 3,193 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,027 円/個となっている（図表 155）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして排出」、「リユースショップの店頭で売却」が続く。「自治体にごみとして排出」のうち「無償」が 49.0%、「支払い（費用負担）」が 47.0%（622 円/個）、「販売」が 4.0%（100 円/個）となっている。

「リユースショップの店頭で売却」では、「販売」が 82.3%（1,507 円/個）、「無償」が 17.7%となっている。

図表 154 排出・引渡時の費用について（家具類）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 155 排出・引渡先別の割合・費用について（家具類）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,086	68.6%							1,086	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	34	2.1%	12	35.3%	3,675	1	2.9%	125	21	61.8%
その他の小売店に引渡し・売却	9	0.6%	8	88.9%	4,896	0	0.0%	—	1	11.1%
リユースショップの店頭で売却	62	3.9%	51	82.3%	1,507	0	0.0%	—	11	17.7%
リユースショップの出張買取サービス	42	2.7%	31	73.8%	2,275	0	0.0%	—	11	26.2%
宅配で郵送する買取サービス	12	0.8%	8	66.7%	16,450	0	0.0%	—	4	33.3%
インターネットオークションで売却	18	1.1%	14	77.8%	4,043	0	0.0%	—	4	22.2%
フリマアプリで売却	27	1.7%	17	63.0%	2,826	2	7.4%	200	8	29.6%
自治体にごみとして排出	151	9.5%	6	4.0%	100	71	47.0%	622	74	49.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	18	1.1%	0	0.0%	—	11	61.1%	665	7	38.9%
市中の不用品回収業者に引渡し	55	3.5%	1	1.8%	5,000	40	72.7%	1,800	14	25.5%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.2%	0	0.0%	—	2	66.7%	1,750	1	33.3%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	20	1.3%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	20	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	3	0.2%	0	0.0%	—	3	100.0%	2,000	0	0.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	15	0.9%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	15	100.0%
その他	29	1.8%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,584	100.0%	148	9.5%	3,193	130	8.4%	1,027	1,277	82.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家具類の排出・流通実態の推計

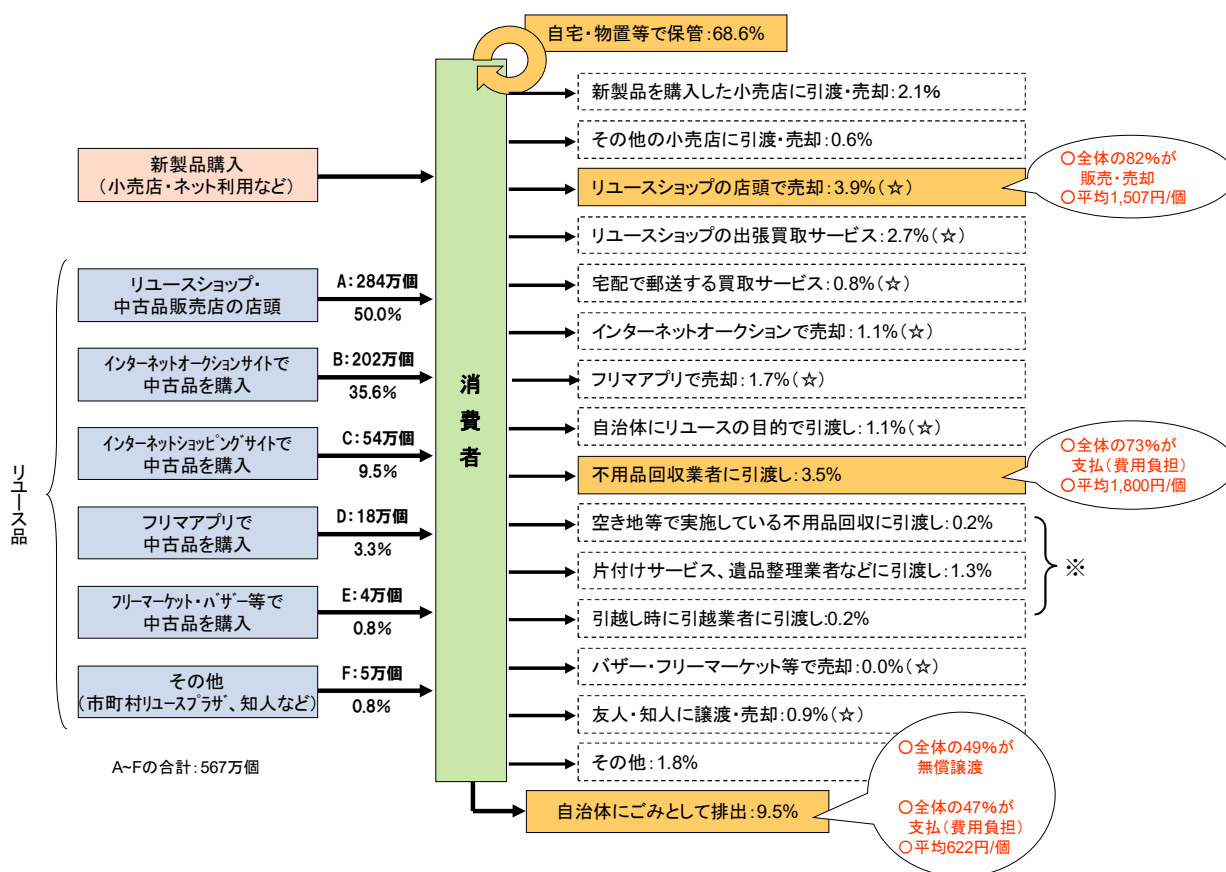
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は567万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが50.0%、284万個、「インターネットオークションサイト」が35.6%、202万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった家具類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く68.6%、次いで「自治体にごみとして排出」が9.5%、「リユースショップの店頭で売却」が3.9%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が3.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償譲渡が49%、支払い（費用負担）が47%（平均622円/個）となっている。「リユースショップの店頭で売却」では販売が82%（平均1,507円/個）、「市中の不用品回収業者に引渡し」では支払い（費用負担）が73%（平均1,800円/個）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の12.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除く割合を求めると全体の41.4%を占めると推計される。

図表 156 家具類の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

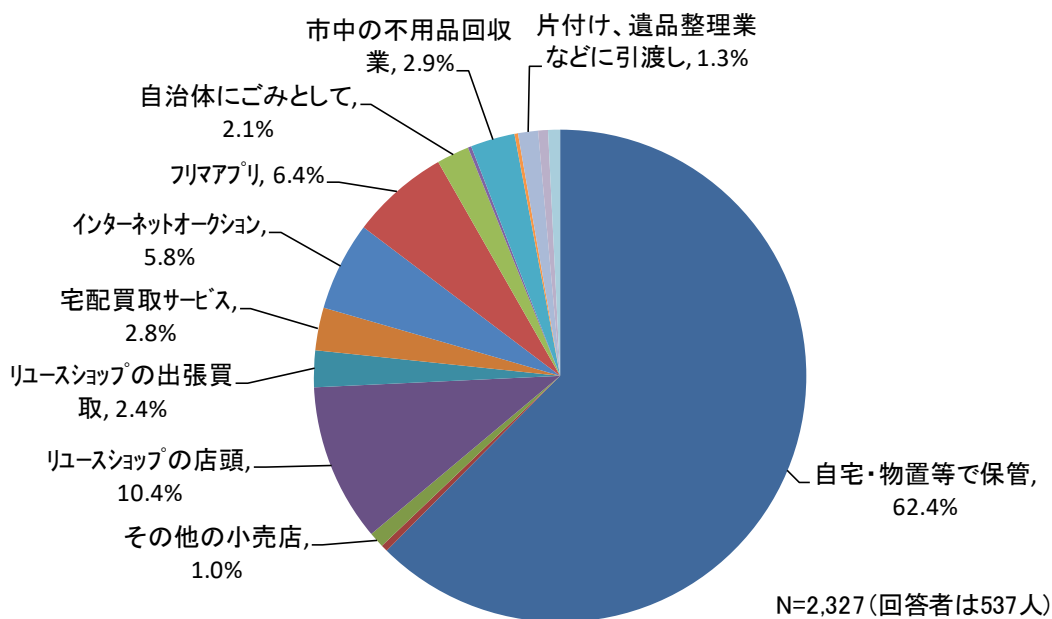
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(2) ブランド品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品の個数は2,327個（537人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く62.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.4%、「フリマアプリで売却」が6.4%と続く。

図表 157 不用となったブランド品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

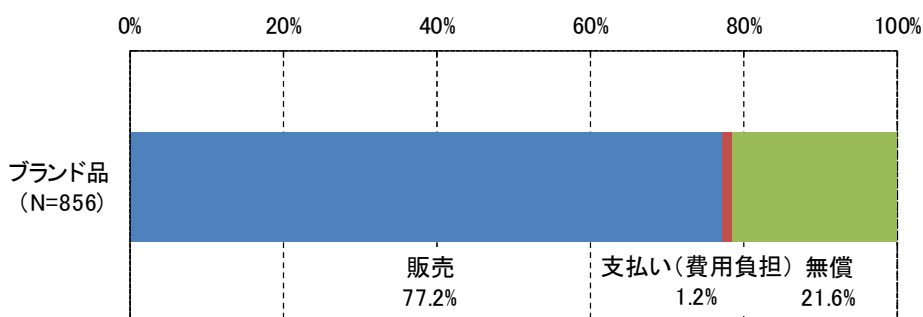
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 77.2%、次いで「無償」が 21.6%、「支払い（費用負担）」は 1.2%となっている（図表 158）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 3,710 円/個、「販売」は 10,273 円/個となっている（図表 159）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が 97.5%（3,444 円/個）となっている。「フリマアプリで売却」では「販売」が 95.3%（10,198 円/個）、「支払い（費用負担）」が 2.7%（1,524 円/個）、「無償」が 2.0%、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 89.7%（12,434 円/個）、「無償」が 10.3%となっている。

図表 158 排出・引渡時の費用について（ブランド品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 159 排出・引渡先別の割合・費用について（ブランド品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,453	62.4%							1,453	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	10	0.4%	10	100.0%	1,821	0	0.0%	—	0	0.0%
その他の小売店に引渡し・売却	24	1.0%	21	87.5%	10,214	0	0.0%	—	3	12.5%
リユースショップの店頭で売却	241	10.4%	235	97.5%	3,444	0	0.0%	—	6	2.5%
リユースショップの出張買取サービス	56	2.4%	45	80.4%	10,808	5	8.9%	5,000	6	10.7%
宅配で郵送する買取サービス	65	2.8%	61	93.8%	33,407	0	0.0%	—	4	6.2%
インターネットオークションで売却	136	5.8%	122	89.7%	12,434	0	0.0%	—	14	10.3%
フリマアプリで売却	150	6.4%	143	95.3%	10,198	4	2.7%	1,524	3	2.0%
自治体にごみとして排出	50	2.1%	14	28.0%	13,143	1	2.0%	6,000	35	70.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	5	0.2%	4	80.0%	11,775	0	0.0%	—	1	20.0%
市中の不用品回収業者に引渡し	68	2.9%	4	5.9%	4,270	0	0.0%	—	64	94.1%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.2%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	31	1.3%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	31	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	15	0.6%	2	13.3%	250	0	0.0%	—	13	86.7%
その他	18	0.8%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,327	100.0%	661	28.6%	10,273	10	0.4%	3,710	1,638	70.9%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ブランド品の排出・流通実態の推計

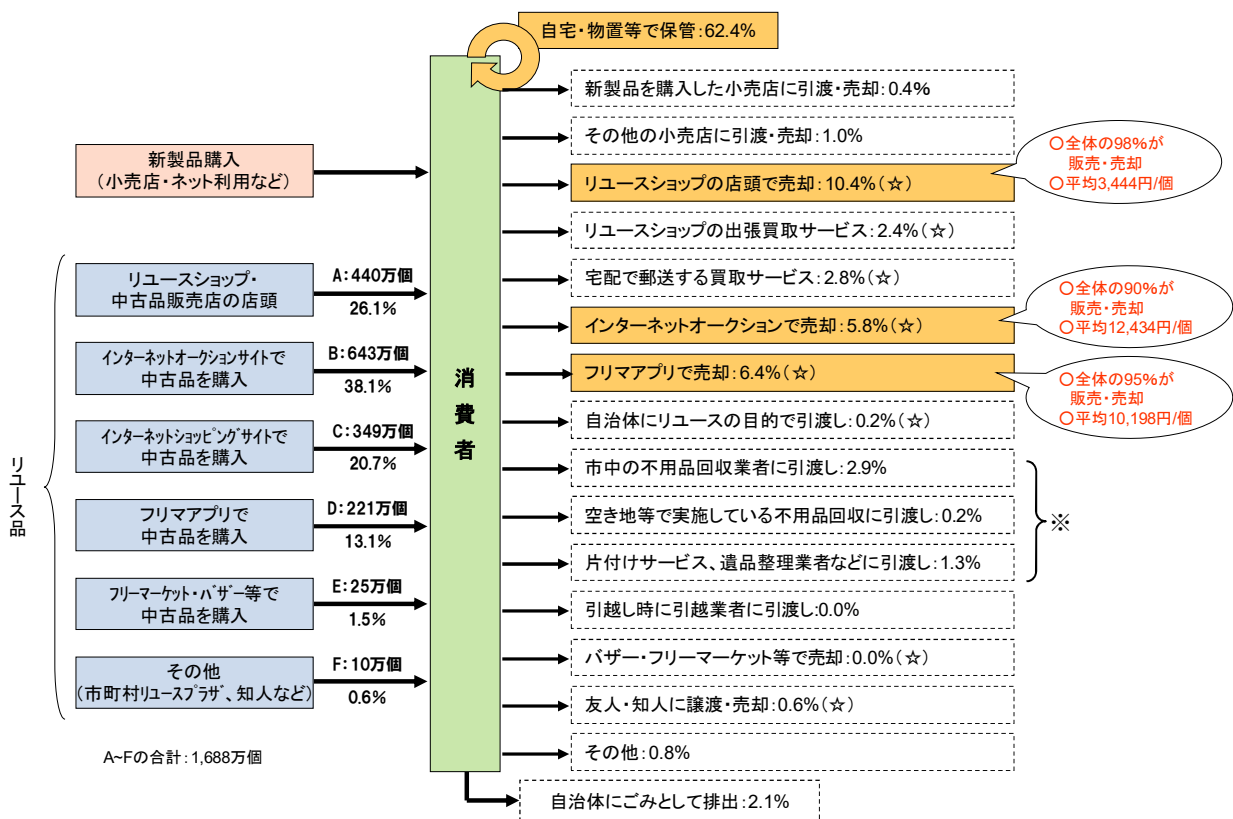
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したブランド品は1,688万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが38.1%、643万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが26.1%、440万個、「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものが、20.7%、349万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く62.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.4%、「フリマアプリで売却」が6.4%、「インターネットオークションで売却」が5.8%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が98%（平均3,444円/個）となっている。次いで「フリマアプリで売却」は販売・売却が95%（平均10,198円/個）、「インターネットオークションで売却」は販売・売却が90%（平均12,434円/個）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の28.7%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の78.0%を占めると推計される。

図表 160 ブランド品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

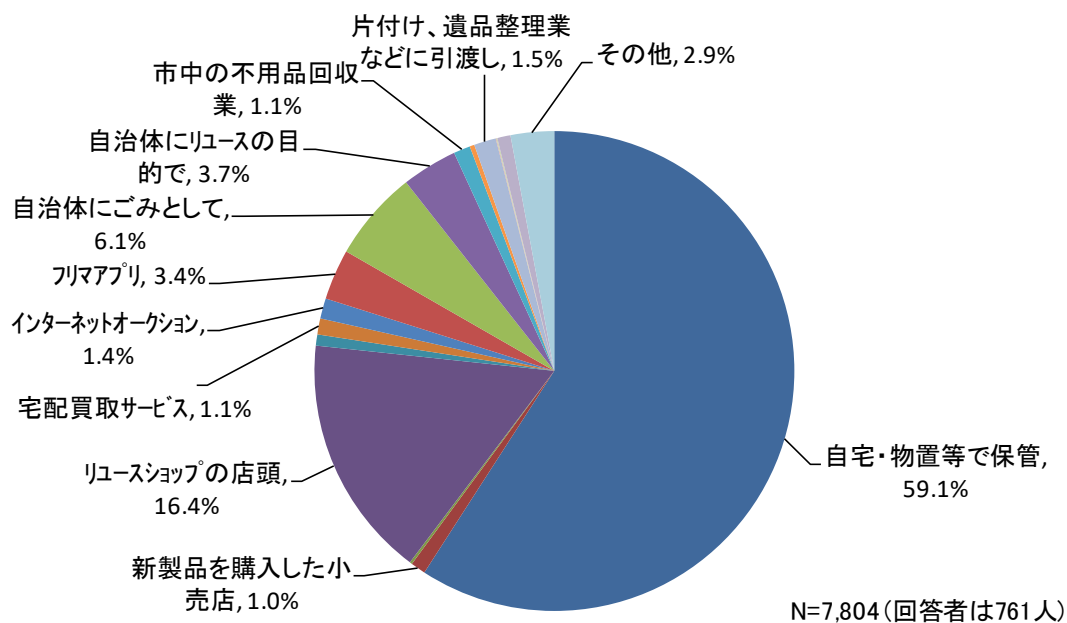
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(3) ブランド品を除く衣類・服飾品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の個数は7,804個(761人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く59.1%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が16.4%、「自治体にごみとして排出」が6.1%と続く。

図表 161 不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出先別の割合(個)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
 ※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

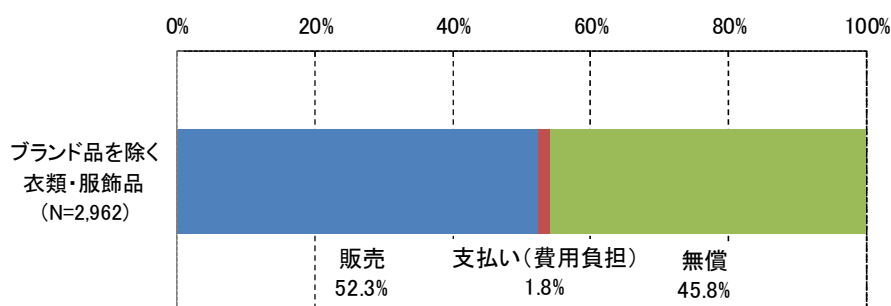
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 52.3%、次いで「無償」が 45.8%、「支払い（費用負担）」は 1.8%となっている（図表 162）。また、「販売」の際の平均単価は 2,870 円/個、「支払い（費用負担）」は 356 円/個となっている（図表 163）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が 74.8%（1,607 円/個）、「無償」が 25.2%となっている。「自治体にごみとして排出」では「無償」が 91.0%、「支払い（費用負担）」が 4.8%（350 円/個）、「販売」が 4.2%（5 円/個）、「自治体にリユース目的で引渡し」では「無償」が 96.2%、「支払い（費用負担）」が 3.4%（20 円/個）、となっている。

図表 162 排出・引渡時の費用について（ブランド品を除く衣類・服飾品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 163 排出・引渡先別の割合・費用について（ブランド品を除く衣類・服飾品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	4,613	59.1%							4,613	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	79	1.0%	74	93.7%	363	0	0.0%	—	5	6.3%
その他の小売店に引渡し・売却	13	0.2%	5	38.5%	500	0	0.0%	—	8	61.5%
リユースショップの店頭で売却	1279	16.4%	957	74.8%	1,607	0	0.0%	—	322	25.2%
リユースショップの出張買取サービス	59	0.8%	51	86.4%	1,020	0	0.0%	—	8	13.6%
宅配で郵送する買取サービス	84	1.1%	76	90.5%	8,329	1	1.2%	1,000	7	8.3%
インターネットオークションで売却	107	1.4%	97	90.7%	16,277	0	0.0%	—	10	9.3%
フリマアプリで売却	266	3.4%	261	98.1%	2,281	0	0.0%	—	5	1.9%
自治体にごみとして排出	477	6.1%	20	4.2%	5	23	4.8%	350	434	91.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	292	3.7%	1	0.3%	5,000	10	3.4%	20	281	96.2%
市中の不用品回収業者に引渡し	88	1.1%	1	1.1%	10	20	22.7%	500	67	76.1%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	25	0.3%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	25	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	116	1.5%	1	0.9%	5,050	0	0.0%	—	115	99.1%
引越し時に引越業者に引渡し	2	0.0%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	2	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	5	0.1%	5	100.0%	500	0	0.0%	—	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	70	0.9%	1	1.4%	10,000	0	0.0%	—	69	98.6%
その他	229	2.9%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	7,804	100.0%	1,550	20.5%	2,870	54	0.7%	356	5,971	78.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

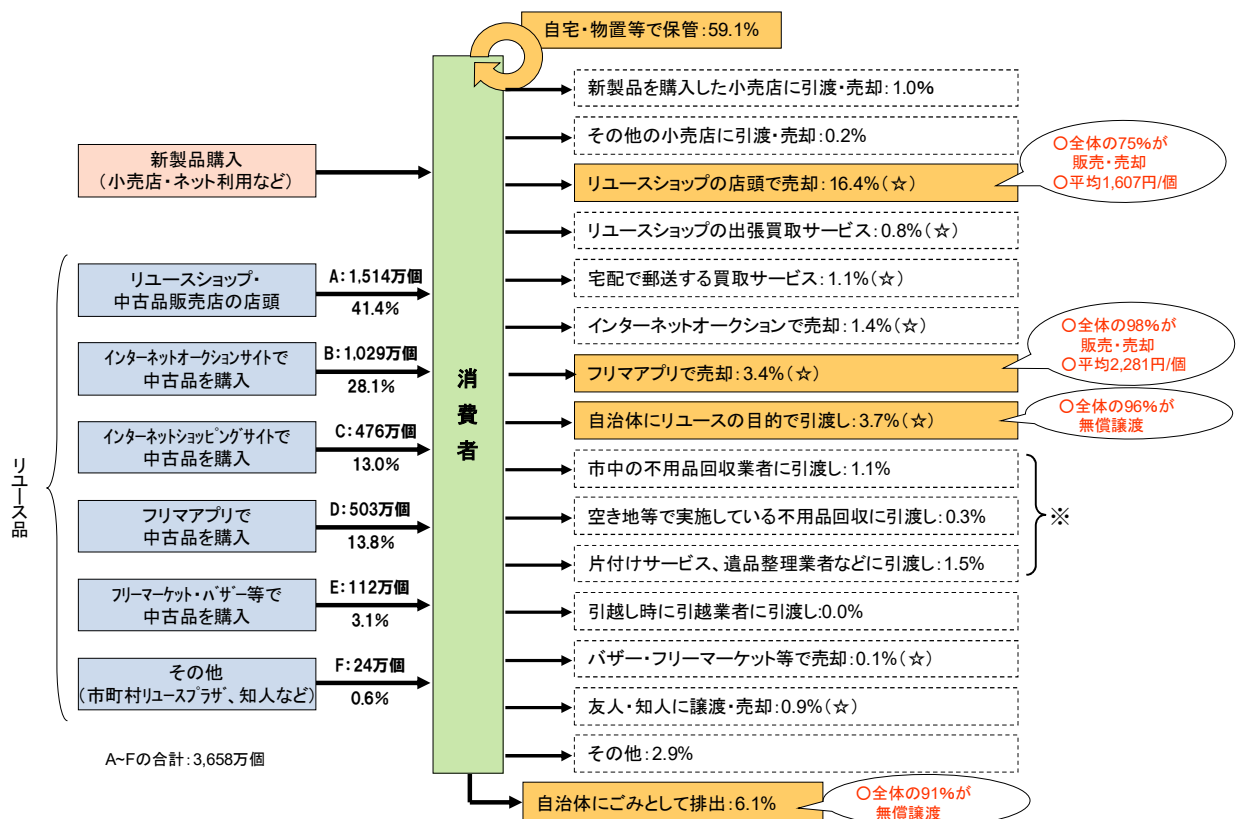
3) ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は3,658万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが41.4%、1,514万個、「インターネットオークションサイト」が28.1%、1,029万個、「フリマアプリ」が13.8%、503万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡について「自宅・物置等で保管」が最も多く59.1%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が16.4%、「自治体にごみとして排出」が6.1%、「自治体にリユースの目的で引渡し」が3.7%、「フリマアプリで売却」が3.4%と続く。排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が75%（平均1,607円/個）となっている。「自治体にごみとして排出」では無償譲渡が91%、「自治体にリユースの目的で引渡し」では無償譲渡が96%、「フリマアプリで売却」では販売・売却が98%（平均2,281円/個）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の27.7%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の73.0%を占めると推計される。

図表 164 ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計

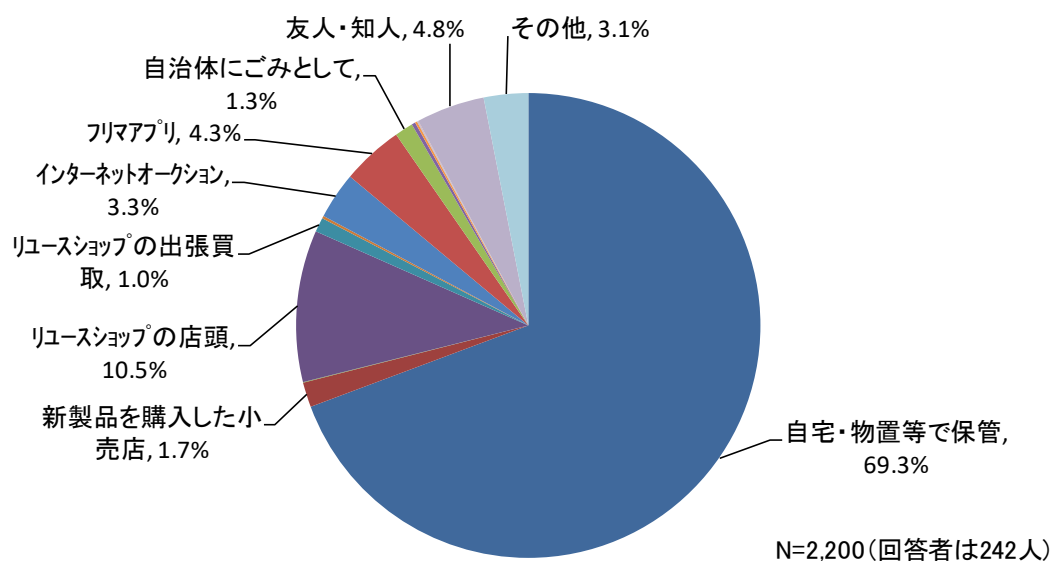


(4) ベビー・子供用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったベビー・子供用品の個数は2,200個（242人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く69.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.5%、「友人・知人に譲渡・売却」が4.8%、「フリマアプリで売却」が4.3%と続く。

図表 165 不用となったベビー・子供用品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

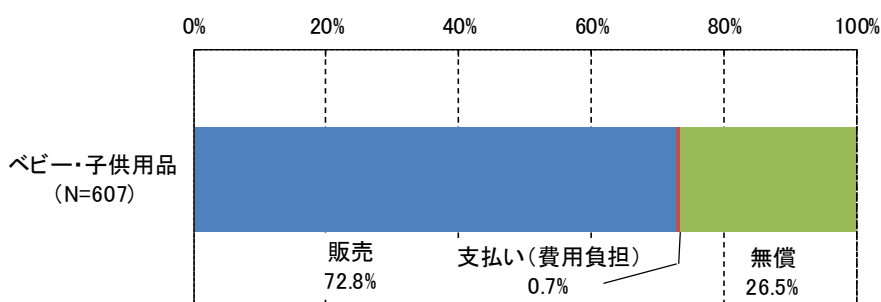
2) 不用品の排出における費用について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 72.8%、次いで「無償」が 26.5%、「支払い（費用負担）」は 0.7%となっている（図表 166）。また、「販売」の際の平均単価は 696 円/個、「支払い（費用負担）」は 12,650 円/個となっている（図表 167）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が 95.7%（181 円/個）となっている。「友人・知人に譲渡・売却」では「無償」が 100.0%、「フリマアプリで売却」では「販売」が 98.9%（745 円/個）となっている。

図表 166 排出・引渡時の費用について（ベビー・子供用品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 167 排出・引渡先別の割合・費用について（ベビー・子供用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,525	69.3%							1,525	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	38	1.7%	36	94.7%	1,153	0	0.0%	—	2	5.3%
その他の小売店に引渡し・売却	1	0.0%	1	100.0%	480	0	0.0%	—	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	232	10.5%	222	95.7%	181	1	0.4%	100	9	3.9%
リユースショップの出張買取サービス	22	1.0%	20	90.9%	200	0	0.0%	—	2	9.1%
宅配で郵送する買取サービス	4	0.2%	1	25.0%	2,000	0	0.0%	—	3	75.0%
インターネットオークションで売却	72	3.3%	67	93.1%	2,067	1	1.4%	50,000	4	5.6%
フリマアプリで売却	94	4.3%	93	98.9%	745	0	0.0%	—	1	1.1%
自治体にごみとして排出	28	1.3%	0	0.0%	—	1	3.6%	300	27	96.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	6	0.3%	1	16.7%	2,000	0	0.0%	—	5	83.3%
市中の不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	-	-	—	—	—	—	—	—
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.1%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	3	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	1	0.0%	1	100.0%	9,800	0	0.0%	—	0	0.0%
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.0%	0	0.0%	—	1	100.0%	200	0	0.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	105	4.8%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	105	100.0%
その他	68	3.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,200	100.0%	442	20.7%	696	4	0.2%	12,650	1,686	79.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計

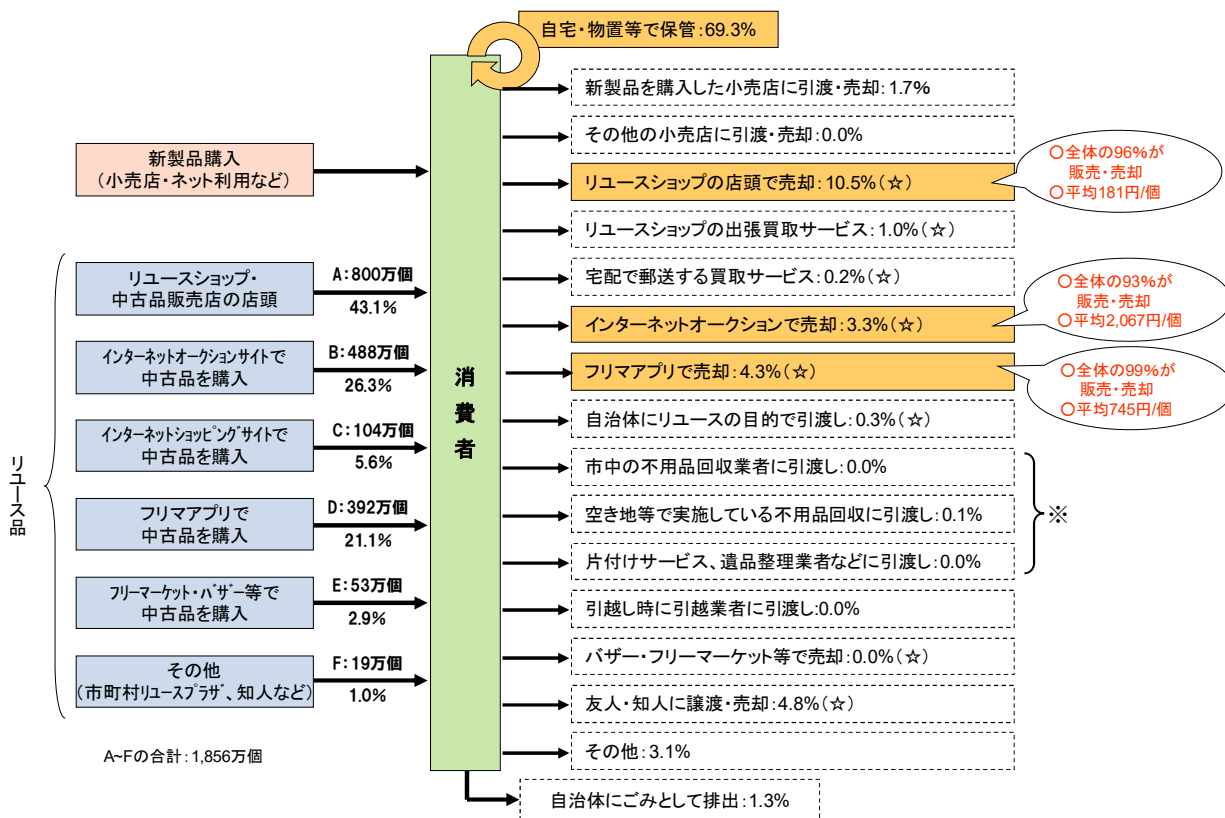
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したベビー・子供用品は1,856万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが43.1%、800万個、「インターネットオークションサイト」が26.3%、488万個、「フリマアプリ」が21.1%、392万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったベビー・子供用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く69.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.5%、「フリマアプリで売却」が4.3%、「インターネットオークションで売却」が3.3%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が96%を占め、その費用は平均181円/個となっている。「フリマアプリで売却」では販売・売却が99%（平均745円/個）、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が93%（平均2,067円/個）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の24.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の88.1%を占めると推計される。

図表 168 ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

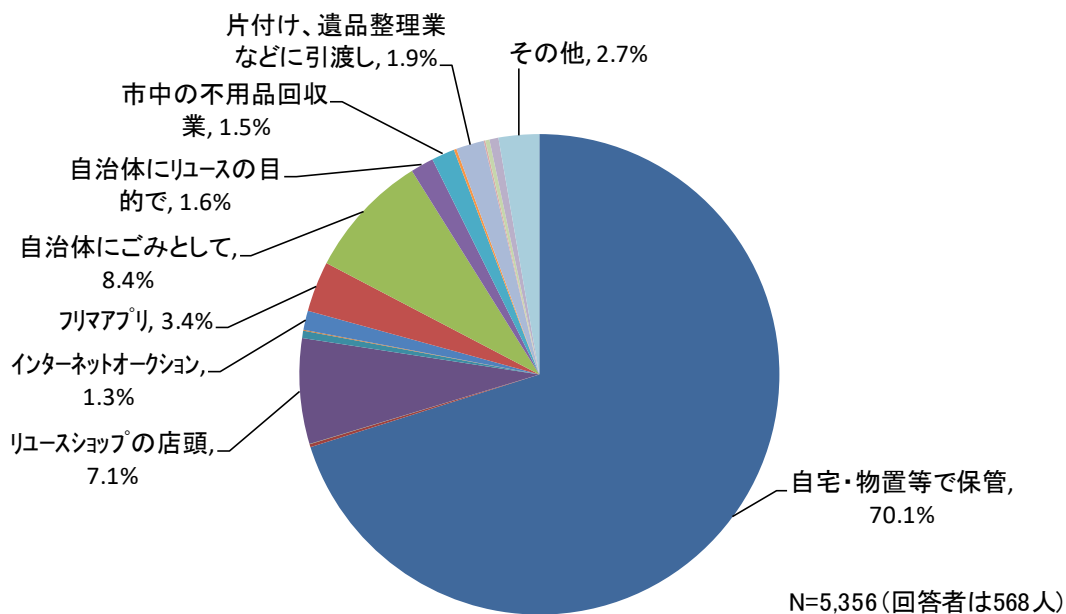
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(5) 日用品・生活雑貨

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった日用品・生活雑貨の個数は5,356個（568人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く70.1%、次いで「自治体にごみとして排出」が8.4%、「リユースショップの店頭で売却」が7.1%と続く。

図表 169 不用となった日用品・生活雑貨の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

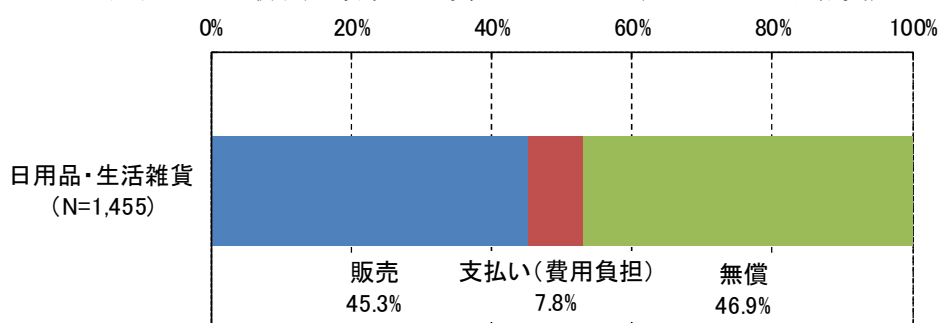
2) 不用品の排出における費用について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 46.9%、次いで「販売」が 45.3%、「支払い（費用負担）」は 7.8%となっている（図表 170）。また、「販売」の際の平均単価は 801 円/個、「支払い（費用負担）」は 288 円/個となっている（図表 171）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして排出」、「リユースショップの店頭で売却」、「フリマアプリで売却」が続く。「自治体にごみとして排出」では 83.8%が「無償」、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 98.9%（484 円/個）、「フリマアプリで売却」では「販売」が 97.3%（1,485 円/個）となっている。

図表 170 排出・引渡時の費用について（日用品・生活雑貨）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 171 排出・引渡先別の割合・費用について（日用品・生活雑貨）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	3,755	70.1%							3,755	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	10	0.2%	9	90.0%	4,478	0	0.0%	—	1	10.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.0%	2	100.0%	3	0	0.0%	—	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	380	7.1%	376	98.9%	484	0	0.0%	—	4	1.1%
リユースショップの出張買取サービス	26	0.5%	18	69.2%	181	0	0.0%	—	8	30.8%
宅配で郵送する買取サービス	4	0.1%	3	75.0%	300	0	0.0%	—	1	25.0%
インターネットオークションで売却	69	1.3%	58	84.1%	341	0	0.0%	—	11	15.9%
フリマアプリで売却	182	3.4%	177	97.3%	1,485	0	0.0%	—	5	2.7%
自治体にごみとして排出	451	8.4%	10	2.2%	1	63	14.0%	271	378	83.8%
自治体にリユースの目的で引渡し	84	1.6%	1	1.2%	5,000	0	0.0%	—	83	98.8%
市中の不用品回収業者に引渡し	83	1.5%	3	3.6%	4,000	49	59.0%	273	31	37.3%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	10	0.2%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	10	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	100	1.9%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	100	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	6	0.1%	0	0.0%	—	1	16.7%	2,000	5	83.3%
バザー・フリーマーケット等で売却	16	0.3%	2	12.5%	1,000	0	0.0%	—	14	87.5%
友人・知人に譲渡・売却	32	0.6%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	32	100.0%
その他	146	2.7%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	5,356	100.0%	659	12.6%	801	113	2.2%	288	4,438	85.2%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計

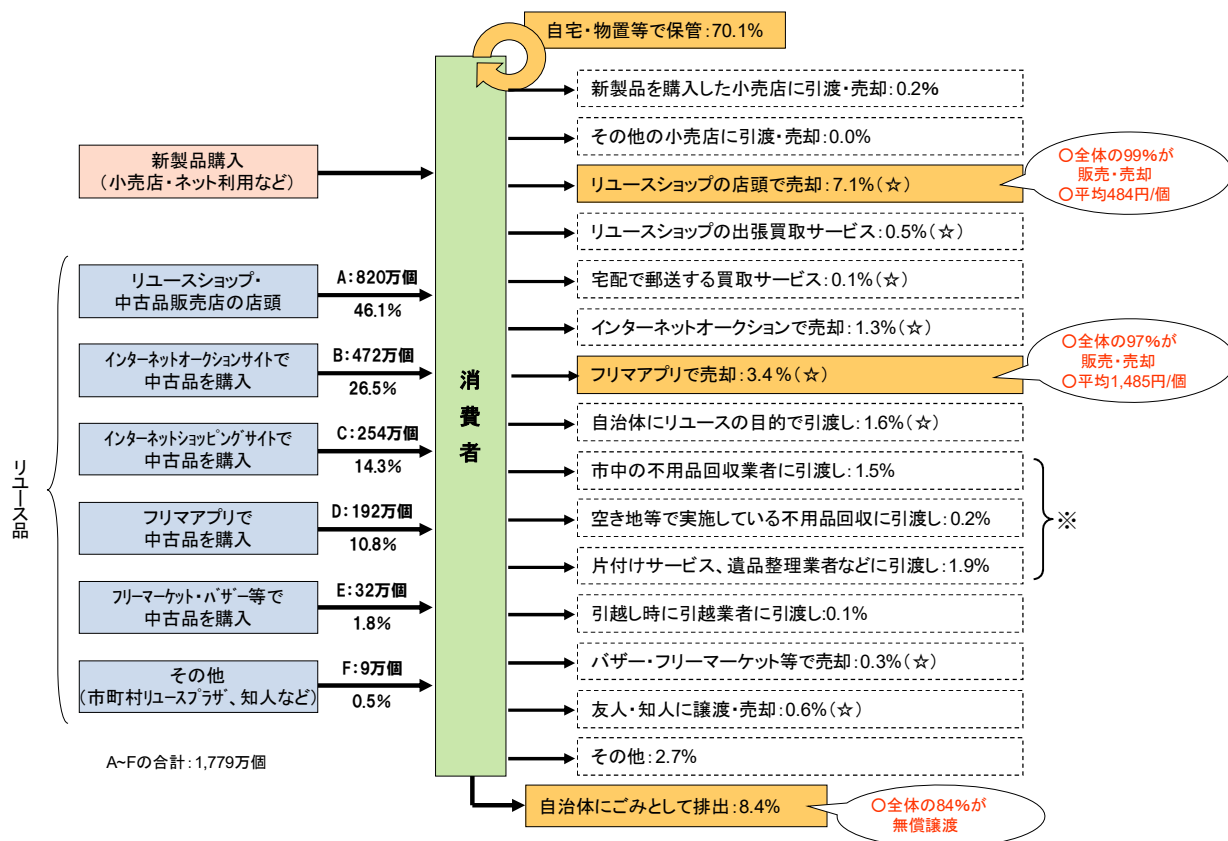
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した日用品・生活雑貨は1,779万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが46.1%、820万個、「インターネットオークションサイト」が26.5%、472万個、「インターネットショッピングサイト」が14.3%、254万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く70.1%、次いで「自治体にごみとして排出」が8.4%、「リユースショップの店頭で売却」が7.1%、「フリマアプリで売却」が3.4%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償譲渡が100%を占めており、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%（平均484円/個）、「フリマアプリで売却」では販売・売却が97%（平均1,485円/個）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の14.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の54.5%を占めると推計される。

図表 172 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

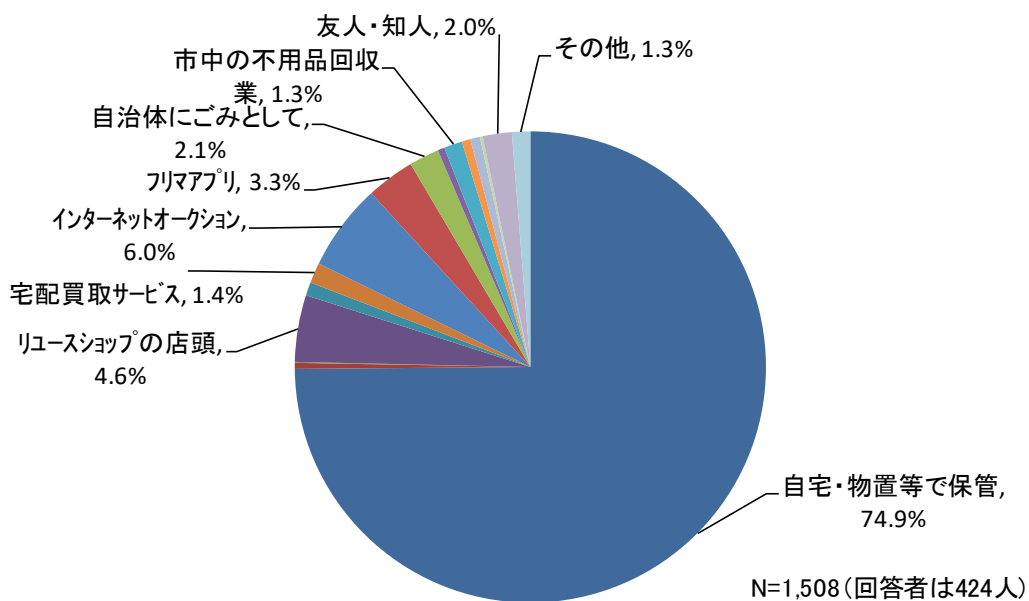
注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(6) スポーツ・レジャー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったスポーツ・レジャー用品の個数は1,508個(424人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く74.9%、次いで「インターネットオークションで売却」が6.0%、「リユースショップの店頭で売却」が4.6%、「フリマアプリで売却」が3.3%と続く。

図表 173 不用となったスポーツ・レジャー用品の排出先別の割合(個)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

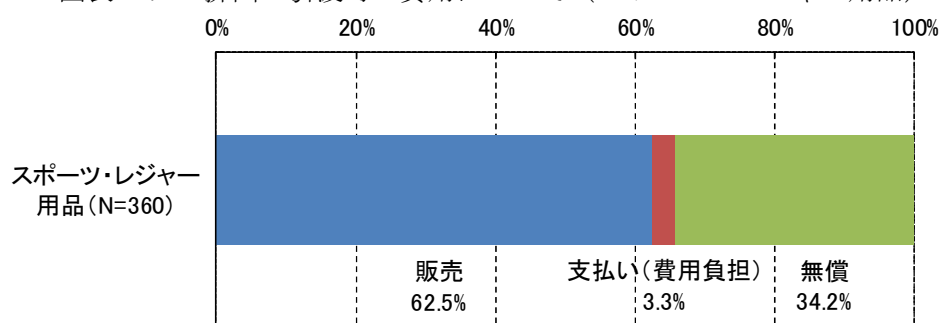
2) 不用品の排出における費用について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 62.5%、次いで「無償」が 34.2%、「支払い（費用負担）」は 3.3%となっている（図表 174）。また、「販売」の際の平均単価は 6,301 円/個、「支払い（費用負担）」は 5,942 円/個となっている（図表 175）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 93.3%（9,535 円/個）、「無償」が 3.3%、「支払い（費用負担）」が 3.3%（2,000 円/個）となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 84.1%（986 円/個）、「無償」が 15.9%、「フリマアプリで売却」では「販売」が 88.0%（3,905 円/個）、「無償」が 12.0%となっている。

図表 174 排出・引渡時の費用について（スポーツ・レジャー用品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 175 排出・引渡先別の割合・費用について（スポーツ・レジャー用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,129	74.9%							1,129	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	6	0.4%	4	66.7%	5,250	0	0.0%	—	2	33.3%
その他の小売店に引渡し・売却	1	0.1%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	1	100.0%
リユースショップの店頭で売却	69	4.6%	58	84.1%	986	0	0.0%	—	11	15.9%
リユースショップの出張買取サービス	14	0.9%	13	92.9%	24,769	0	0.0%	—	1	7.1%
宅配で郵送する買取サービス	21	1.4%	14	66.7%	1,093	0	0.0%	—	7	33.3%
インターネットオークションで売却	90	6.0%	84	93.3%	9,535	3	3.3%	2,000	3	3.3%
フリマアプリで売却	50	3.3%	44	88.0%	3,905	0	0.0%	—	6	12.0%
自治体にごみとして排出	31	2.1%	2	6.5%	5,000	1	3.2%	500	28	90.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	7	0.5%	0	0.0%	—	1	14.3%	200	6	85.7%
市中の不用品回収業者に引渡し	19	1.3%	1	5.3%	2,000	7	36.8%	9,229	11	57.9%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	9	0.6%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	9	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	0.7%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	10	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	—	-	-	—	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	3	0.2%	3	100.0%	500	0	0.0%	—	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	30	2.0%	2	6.7%	8,000	0	0.0%	—	28	93.3%
その他	19	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,508	100.0%	225	15.1%	6,301	12	0.8%	5,942	1,252	84.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計

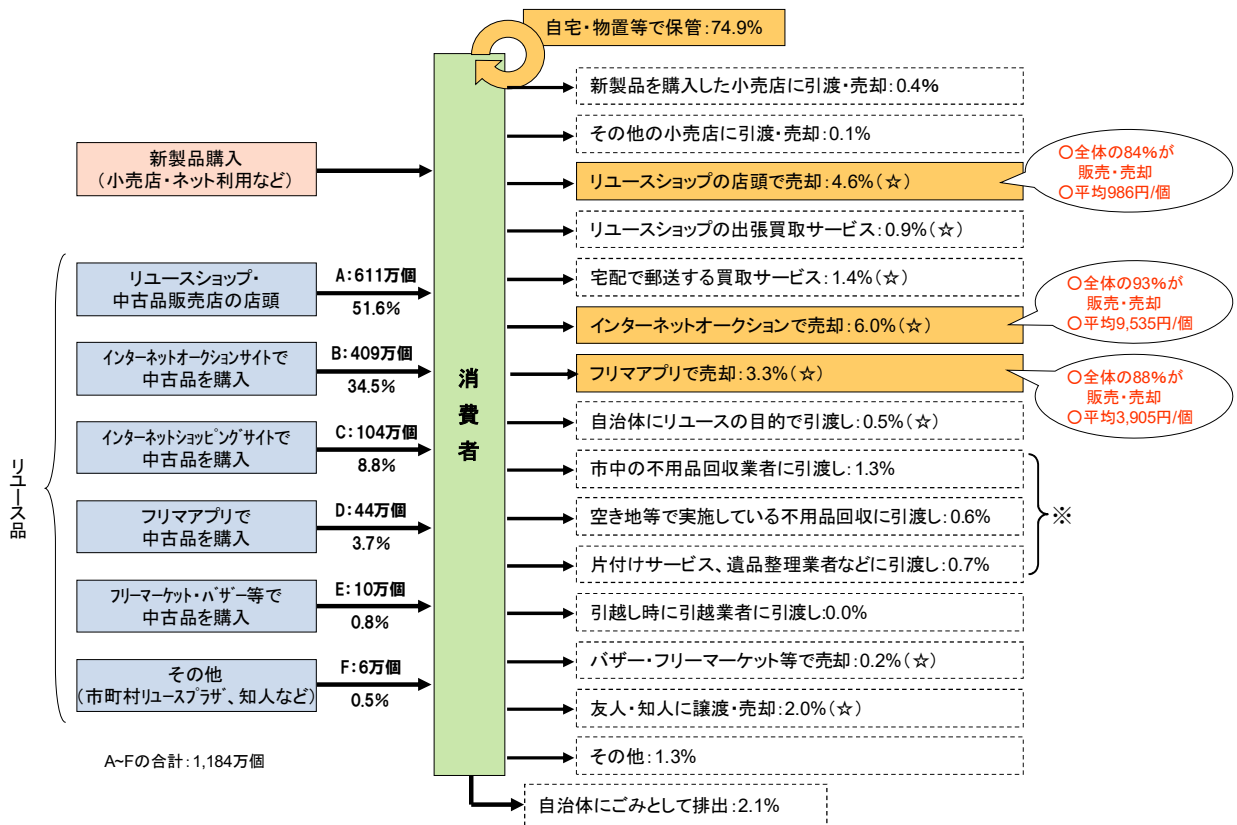
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したスポーツ・レジャー用品は1,184万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが51.6%、611万個、「インターネットオークションサイト」が34.5%、409万個、「インターネットショッピングサイト」は8.8%、104万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く74.9%、次いで「インターネットオークションで売却」が6.0%、「リユースショップの店頭で売却」が4.6%、「フリマアプリで売却」が3.3%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が93%（平均9,535円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が84%（平均986円/個）となっている。「フリマアプリで売却」では販売・売却が88%（平均3,905円/個）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の18.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の78.9%を占めると推計される。

図表 176 スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

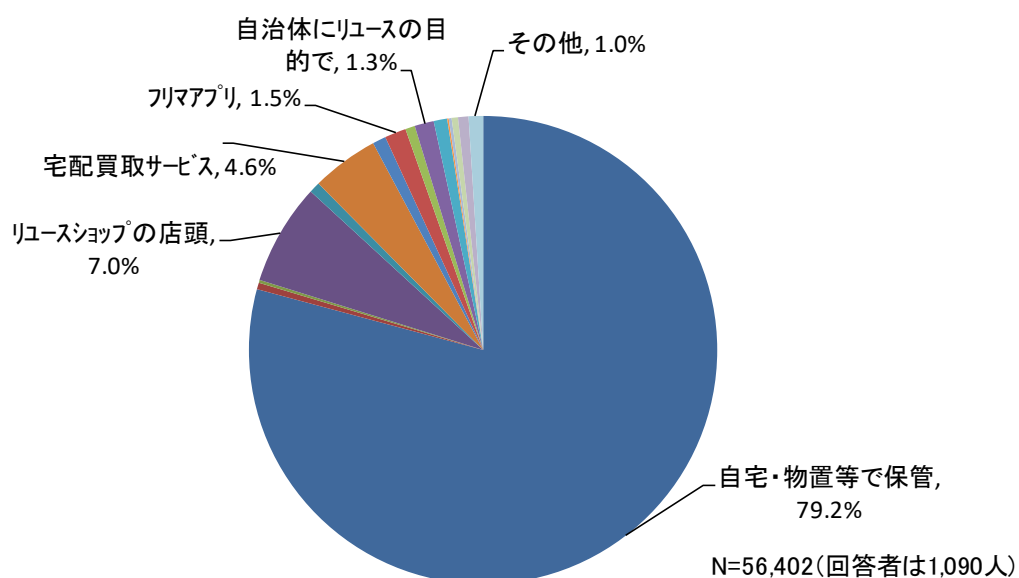
注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
 (詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(7) 書籍

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった書籍の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった書籍の冊数は56,402冊(1,090人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く79.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が7.0%、「宅配買取サービスで売却」が4.6%、「フリマアプリで売却」が1.5%と続く。

図表 177 不用となった書籍の排出先別の割合(冊)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

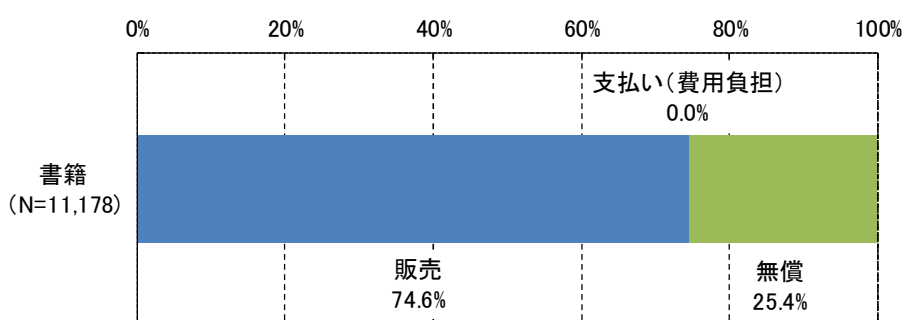
2) 不用品の排出における費用について

不用となった書籍の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く74.6%、次いで「無償」が25.4%、「支払い（費用負担）」は0.0%となっている（図表178）。また、「販売」の際の平均単価は1,280円/冊、「支払い（費用負担）」は767円/冊となっている（図表179）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が95.5%（960円/冊）となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が87.7%（1,290円/冊）、「無償」が12.3%となっており、「フリマアプリで売却」では「販売」が99.0%（544円/冊）となっている。

図表178 排出・引渡時の費用について（書籍）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表179 排出・引渡先別の割合・費用について（書籍）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/冊)	個数	割合	単価(円/冊)	個数	割合
自宅・物置等で保管	44,659	79.2%							44,659	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	261	0.5%	231	88.5%	1,361	0	0.0%	—	30	11.5%
その他の小売店に引渡し・売却	104	0.2%	104	100.0%	82	0	0.0%	—	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	3,947	7.0%	3,769	95.5%	960	0	0.0%	—	178	4.5%
リユースショップの出張買取サービス	436	0.8%	435	99.8%	5,416	0	0.0%	—	1	0.2%
宅配で郵送する買取サービス	2,602	4.6%	2,281	87.7%	1,290	0	0.0%	—	321	12.3%
インターネットオークションで売却	531	0.9%	512	96.4%	1,830	2	0.4%	1,000	17	3.2%
フリマアプリで売却	825	1.5%	817	99.0%	544	1	0.1%	300	7	0.8%
自治体にごみとして排出	384	0.7%	1	0.3%	4,000	0	0.0%	—	383	99.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	745	1.3%	10	1.3%	1,200	0	0.0%	—	735	98.7%
市中の不用品回収業者に引渡し	519	0.9%	160	30.8%	225	0	0.0%	—	359	69.2%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	62	0.1%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	62	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	120	0.2%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	120	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	—	-	-	—	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	236	0.4%	21	8.9%	288	0	0.0%	—	215	91.1%
友人・知人に譲渡・売却	406	0.7%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	406	100.0%
その他	565	1.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	56,402	100.0%	8,341	14.9%	1,280	3	0.0%	767	47,493	85.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 書籍の排出・流通実態の推計

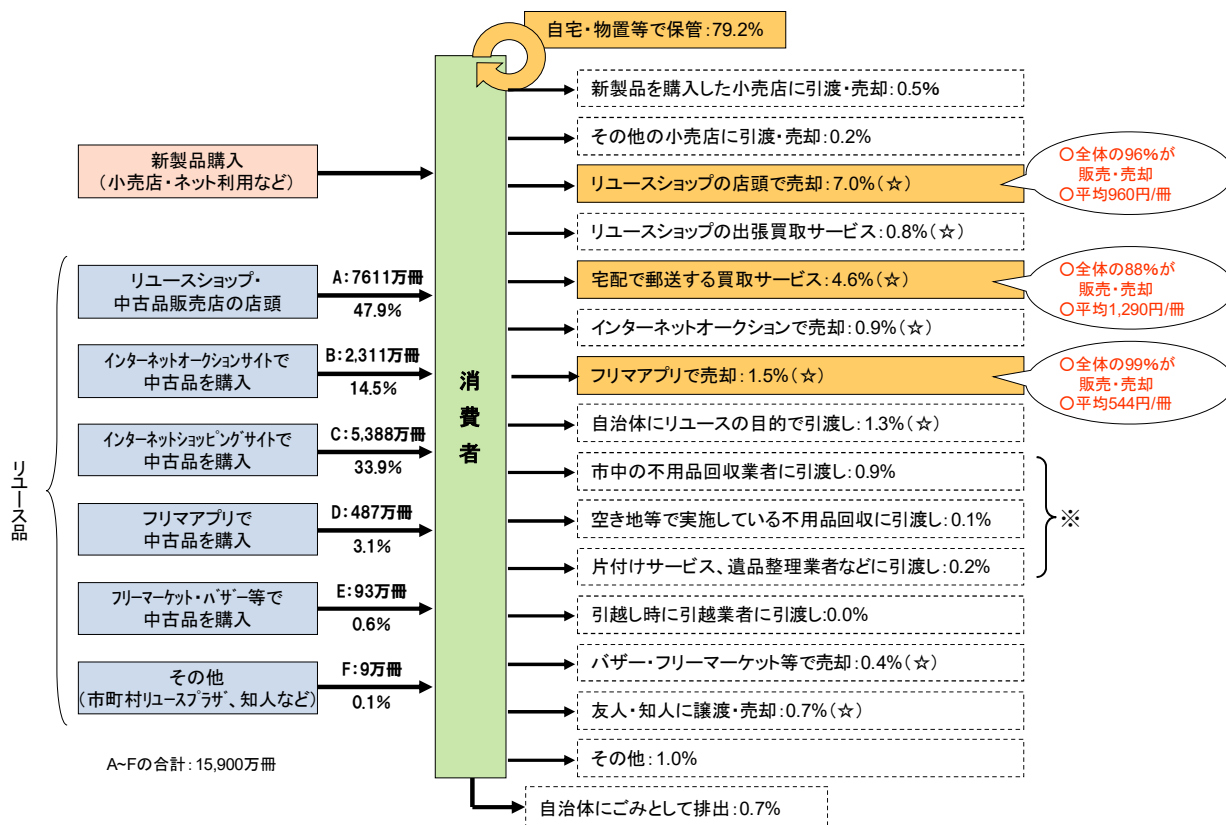
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した書籍は15,900万冊、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが47.9%、7,611万冊、「インターネットショッピングサイト」が33.9%、5,388万冊、「インターネットオークションサイト」が14.5%、2,311万冊と推計される。

また、過去1年間で不用となった書籍の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く79.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が7.0%、「宅配で郵送する買取サービス」が4.6%、「フリマアプリで売却」が1.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が96%（平均960円/冊）となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却が88%（平均1,290円/冊）、「フリマアプリで売却」では販売・売却が99%（平均544円/冊）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の17.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の87.0%を占めると推計される。

図表 180 書籍の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

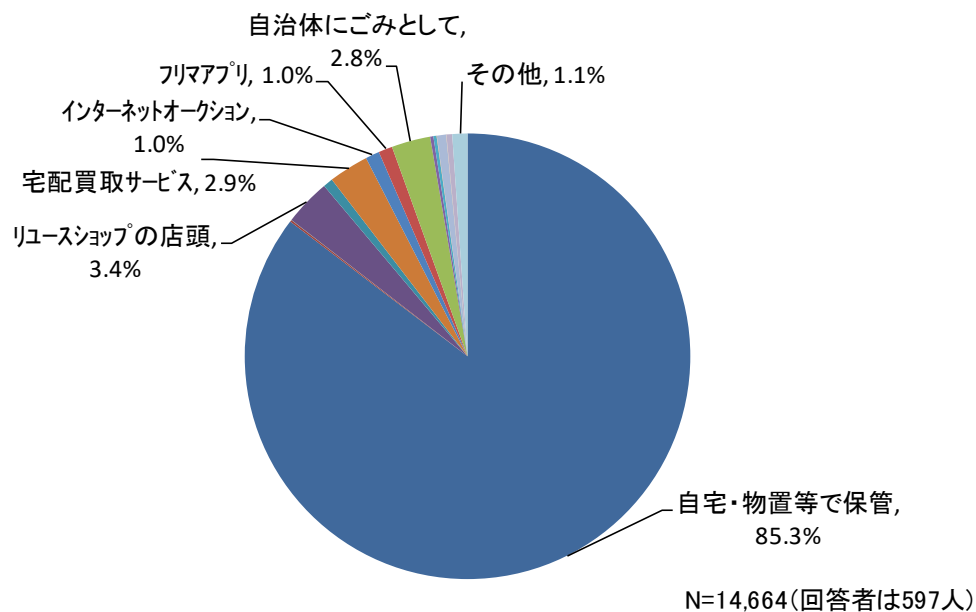
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(8) ソフト・メディア類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったソフト・メディア類の個数は14,664個(597人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く85.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が3.4%、「宅配で郵送する買取サービス」が2.9%「自治体にごみとして排出」が2.8%と続く。

図表 181 不用となったソフト・メディア類の排出先別の割合(個)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

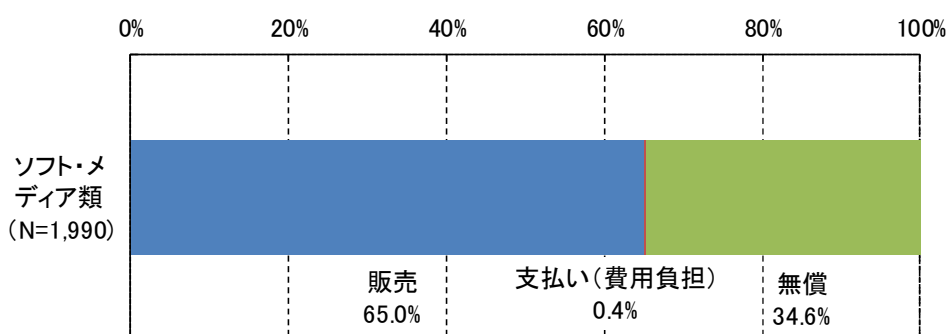
2) 不用品の排出における費用について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 65.0%、次いで「無償」が 34.6%、「支払い（費用負担）」は 0.4%となっている（図表 182）。また、「販売」の際の平均単価は 2,691 円/個、「支払い（費用負担）」は 743 円/個となっている（図表 183）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.2%（864 円/個）となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 98.4%（4,679 円/個）、「自治体にごみとして排出」では「無償」が 99.3%となっている。

図表 182 排出・引渡時の費用について（ソフト・メディア類）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 183 排出・引渡先別の割合・費用について（ソフト・メディア類）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	12,513	85.3%							12,513	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	20	0.1%	15	75.0%	1,587	0	0.0%	—	5	25.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.0%	2	100.0%	100	0	0.0%	—	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	494	3.4%	475	96.2%	864	1	0.2%	400	18	3.6%
リユースショップの出張買取サービス	105	0.7%	105	100.0%	2,308	0	0.0%	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	426	2.9%	419	98.4%	4,679	1	0.2%	2,000	6	1.4%
インターネットオークションで売却	146	1.0%	137	93.8%	4,523	1	0.7%	100	8	5.5%
フリマアプリで売却	148	1.0%	138	93.2%	1,596	2	1.4%	100	8	5.4%
自治体にごみとして排出	413	2.8%	3	0.7%	1,500	0	0.0%	—	410	99.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	37	0.3%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	37	100.0%
市中の不用品回収業者に引渡し	33	0.2%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	33	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	2	0.0%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	2	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	100	0.7%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	100	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.0%	0	0.0%	—	1	100.0%	2,000	0	0.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	1	0.0%	0	0.0%	—	1	100.0%	500	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	62	0.4%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	62	100.0%
その他	161	1.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	14,664	100.0%	1,294	8.9%	2,691	7	0.0%	743	13,202	91.0%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計

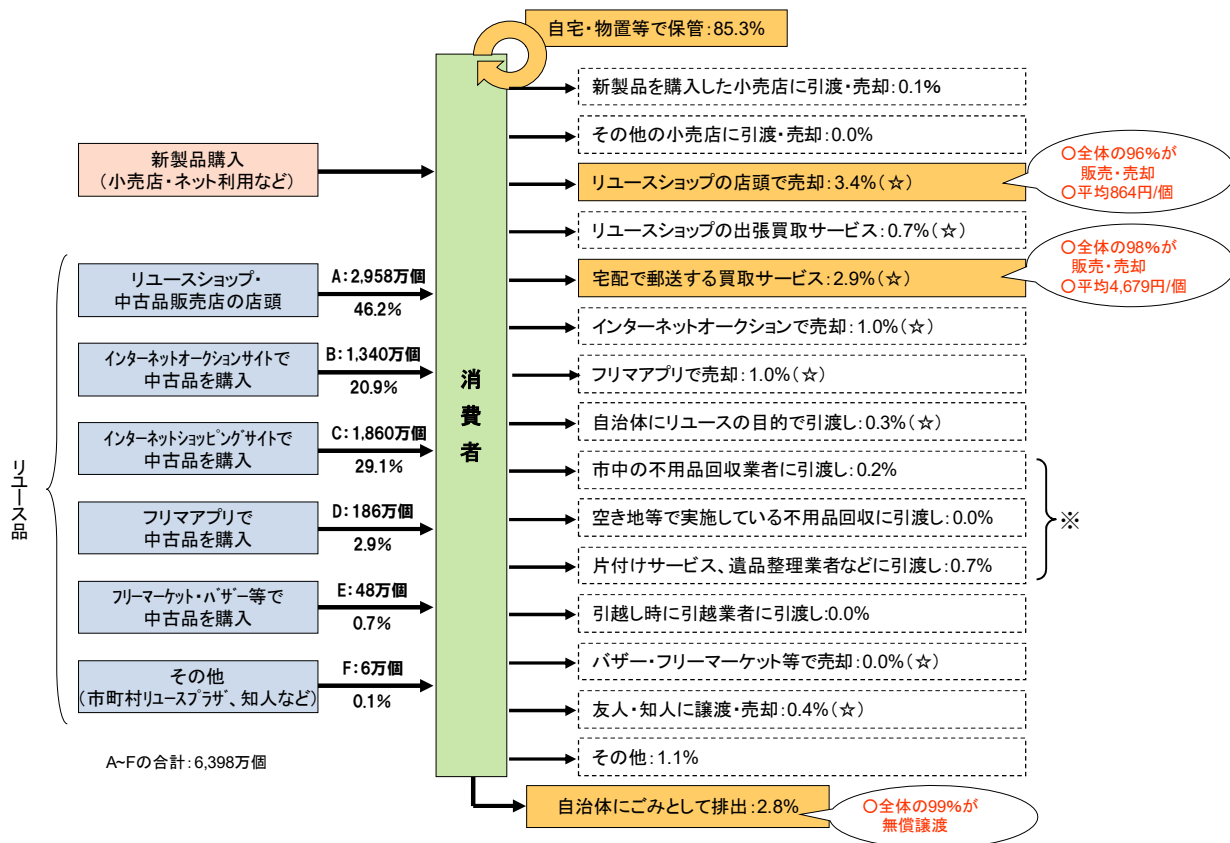
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したソフト・メディア類は6,398万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが46.2%、2,958万個、「インターネットショッピングサイト」が29.1%、1,860万個、「インターネットオークションサイト」が20.9%、1,340万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったソフト・メディア類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く85.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が3.4%、「宅配で郵送する買取サービス」が2.9%、「自治体にごみとして排出」が2.8%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が96%（平均864円/個）、「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却が98%（平均4,679円/個）となっている。「自治体にごみとして排出」では無償譲渡が99%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の9.7%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の71.3%を占めると推計される。

図表 184 ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

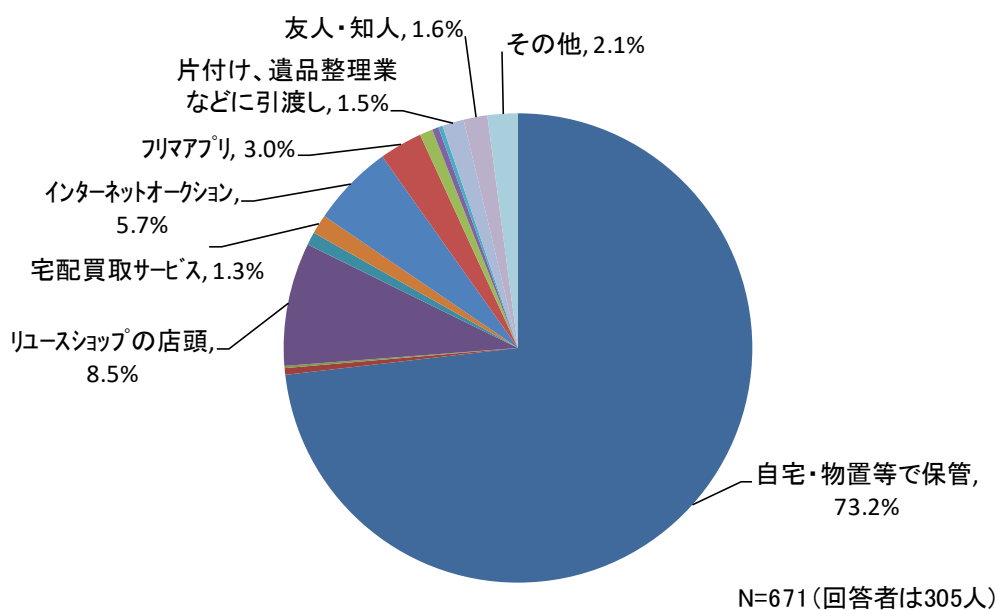
注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(9) ゲーム機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったゲーム機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったゲーム機器の台数は671台(305人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く73.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が8.5%、「インターネットオークションで売却」が5.7%、と続く。

図表 185 不用となったゲーム機器の排出先別の割合(台)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

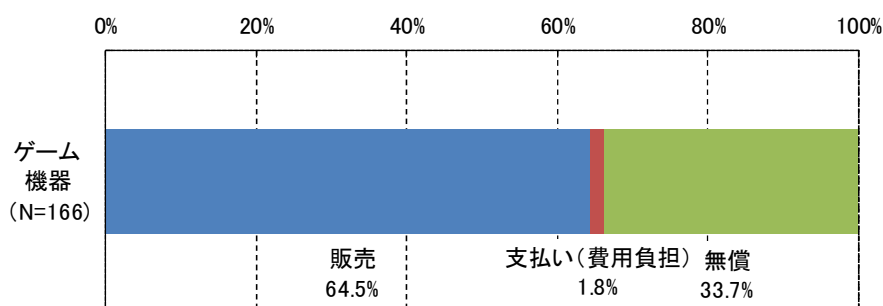
不用となったゲーム機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 64.5%、次いで「無償」が 33.7%、「支払い（費用負担）」は 1.8%となっている（図表 186）。また、「販売」の際の平均単価は 2,631 円/台、「支払い（費用負担）」は 233 円/台となっている（図表 187）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が 66.7%（1,208 円/台）、「無償」が 33.3%となっている。

「インターネットオークションで売却」では「販売」が 84.2%（2,600 円/台）、「無償」が 10.5%、「支払（費用負担）」が 5.3%（100 円/台）、「フリマアプリで売却」では「販売」が 85.0%（2,439 円/台）、「無償」が 15.0%となっている。

図表 186 排出・引渡時の費用について（ゲーム機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 187 排出・引渡先別の割合・費用について（ゲーム機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	491	73.2%							491	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	3	0.4%	3	100.0%	3,500	0	0.0%	—	0	0.0%
その他の小売店に引渡し・売却	1	0.1%	1	100.0%	5,000	0	0.0%	—	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	57	8.5%	38	66.7%	1,208	0	0.0%	—	19	33.3%
リユースショップの出張買取サービス	6	0.9%	6	100.0%	12,000	0	0.0%	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	9	1.3%	8	88.9%	2,425	1	11.1%	500	0	0.0%
インターネットオークションで売却	38	5.7%	32	84.2%	2,600	2	5.3%	100	4	10.5%
フリマアプリで売却	20	3.0%	17	85.0%	2,439	0	0.0%	—	3	15.0%
自治体にごみとして排出	6	0.9%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	6	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	3	0.4%	2	66.7%	2,000	0	0.0%	—	1	33.3%
市中の不用品回収業者に引渡し	2	0.3%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	2	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	-	-	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	1.5%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	10	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	11	1.6%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	11	100.0%
その他	14	2.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	671	100.0%	107	16.3%	2,631	3	0.5%	233	547	83.3%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ゲーム機器の排出・流通実態の推計

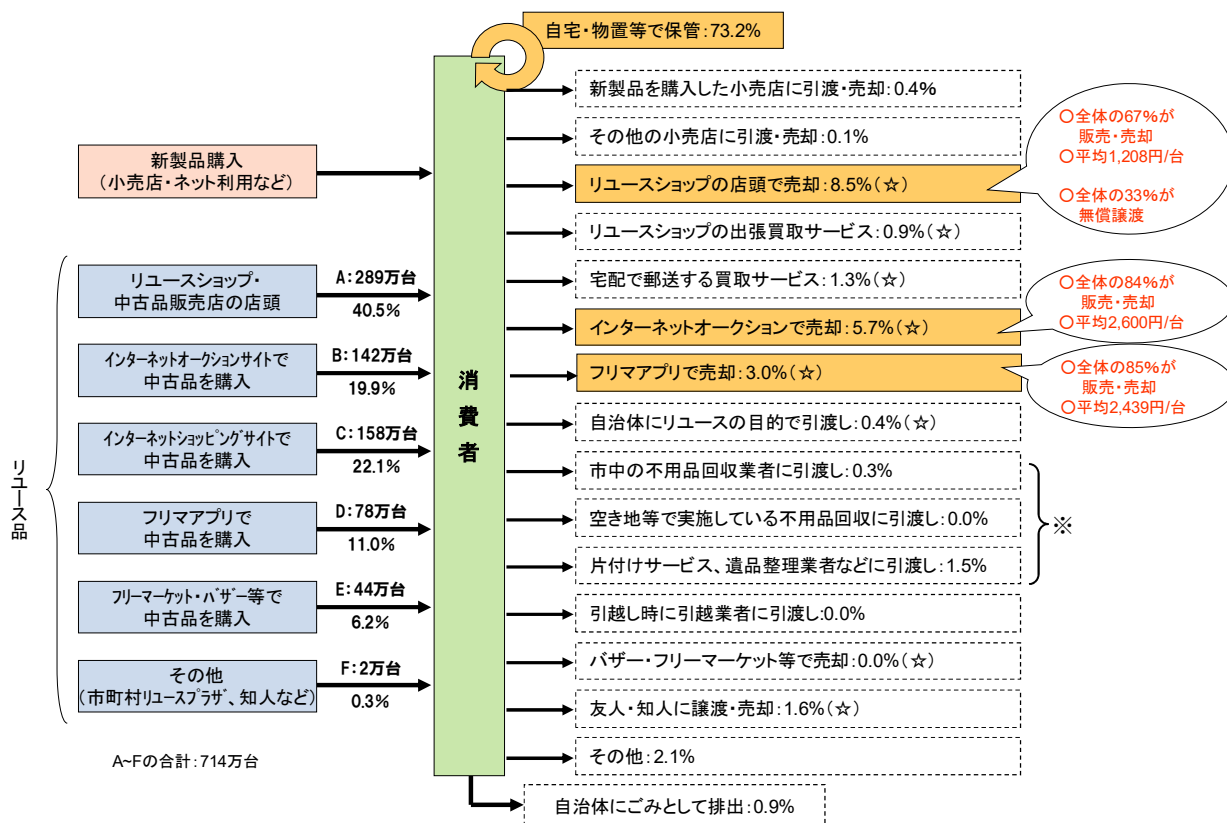
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したゲーム機器は714万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが40.5%、289万台。「インターネットショッピングサイト」が22.1%、158万台、「インターネットオークションサイト」が19.9%、142万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったゲーム機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く73.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が8.5%、「インターネットオークションで売却」が5.7%、「フリマアプリで売却」が3.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」は販売・売却が67%（平均1,208円/台）、無償譲渡が33%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が84%（平均2,600円/台）、「フリマアプリで売却」では販売・売却が85%（平均2,439円/台）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の21.5%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の86.7%を占めると推計される。

図表 188 ゲーム機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

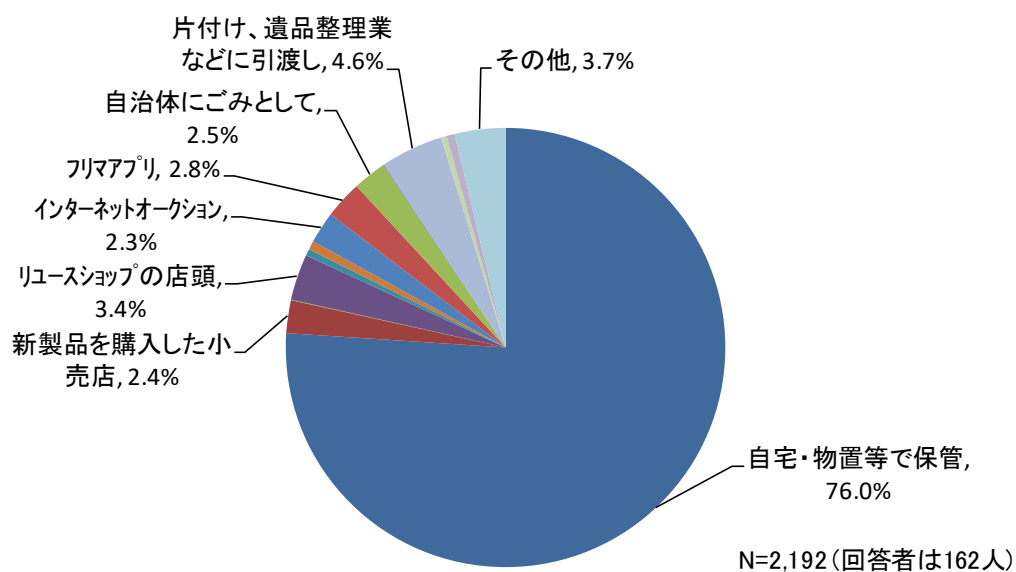
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(10) 玩具・模型

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった玩具・模型の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった玩具・模型の個数は2,192個（162人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く76.0%、次いで「片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し」が4.6%、「リユースショップの店頭で売却」が3.4%、「フリマアプリで売却」が2.8%、「自治体にごみとして排出」が2.5%と続く。

図表 189 不用となった玩具・模型の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

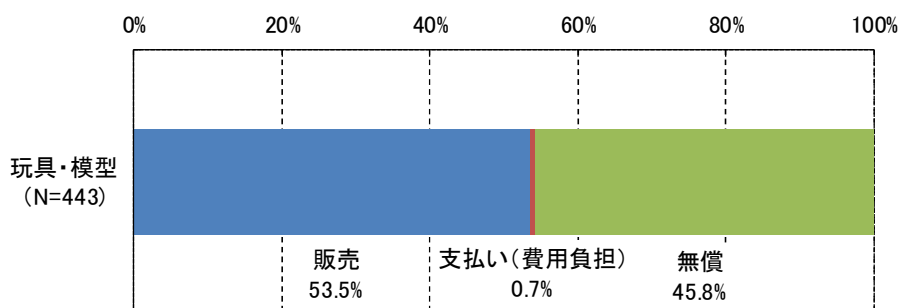
2) 不用品の排出における費用について

不用となった玩具・模型の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 53.5%、次いで「無償」が 45.8%、「支払い（費用負担）」は 0.7%となっている（図表 190）。また、「販売」の際の平均単価は 1,076 円/個、「支払い（費用負担）」は 2,333 円/個となっている（図表 191）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多い。次いで「片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し」が続き、そのうち「無償」が 100.0%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 94.6%（1,336 円/個）、「無償」が 5.4%、「フリマアプリで売却」では「販売」が 62.3%（1,334 円/個）、「無償」が 37.7%、「自治体にごみとして排出」では「無償」が 100.0%となっている。

図表 190 排出・引渡時の費用について（玩具・模型）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 191 排出・引渡先別の割合・費用について（玩具・模型）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,667	76.0%							1,667	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	53	2.4%	50	94.3%	1	0	0.0%	—	3	5.7%
その他の小売店に引渡し・売却	1	0.0%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	1	100.0%
リユースショップの店頭で売却	74	3.4%	70	94.6%	1,336	0	0.0%	—	4	5.4%
リユースショップの出張買取サービス	11	0.5%	11	100.0%	973	0	0.0%	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	14	0.6%	11	78.6%	273	2	14.3%	2,000	1	7.1%
インターネットオークションで売却	51	2.3%	51	100.0%	1,892	0	0.0%	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	61	2.8%	38	62.3%	1,334	0	0.0%	—	23	37.7%
自治体にごみとして排出	54	2.5%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	54	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	1	0.0%	1	100.0%	100	0	0.0%	—	0	0.0%
市中の不用品回収業者に引渡し	1	0.0%	0	0.0%	—	1	100.0%	3,000	0	0.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	100	4.6%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	100	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	9	0.4%	5	55.6%	100	0	0.0%	—	4	44.4%
友人・知人に譲渡・売却	13	0.6%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	13	100.0%
その他	82	3.7%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,192	100.0%	237	11.2%	1,076	3	0.1%	2,333	1,870	88.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 玩具・模型の排出・流通実態の推計

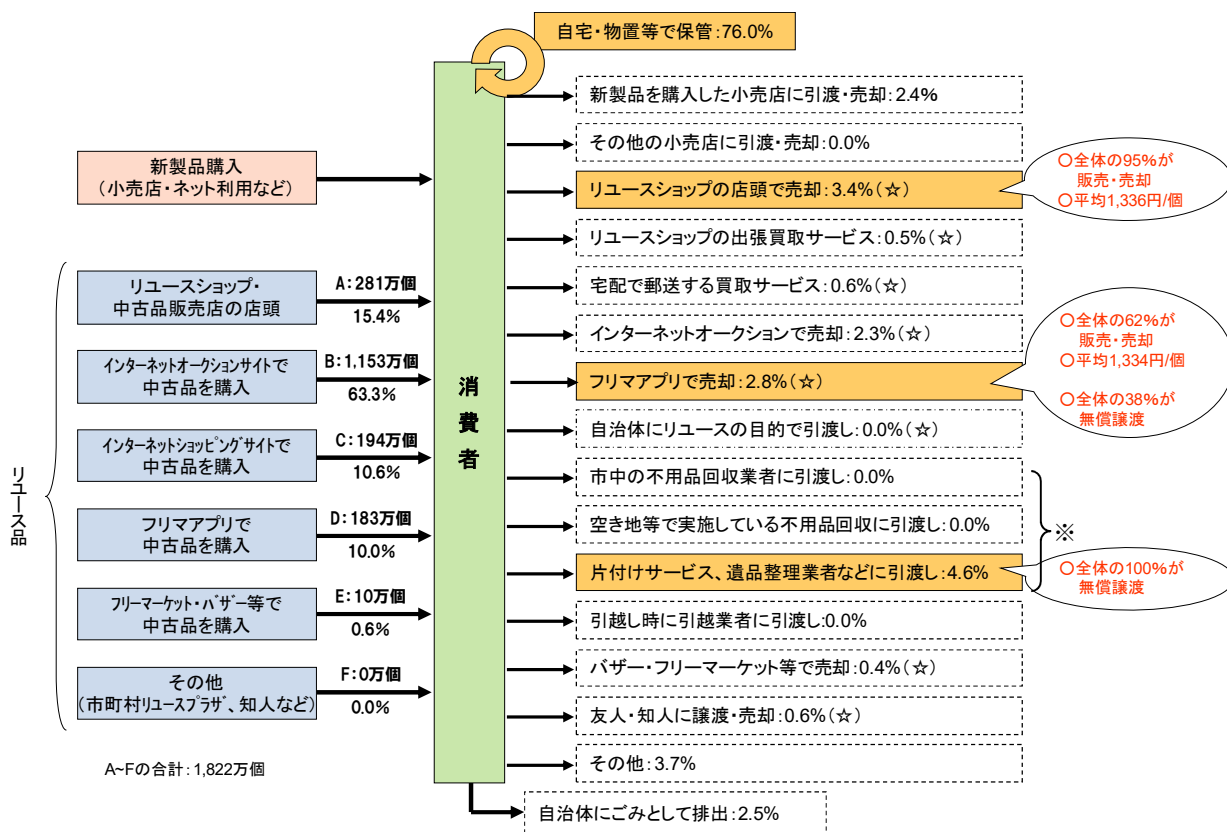
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した玩具・模型は1,822万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが63.3%、1,153万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が15.4%、281万個、「インターネットショッピングサイト」が10.6%、194万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった玩具・模型の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く76.0%、次いで「片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し」が4.6%、「リユースショップの店頭で売却」が3.4%、「フリマアプリで売却」が2.8%と続く

排出・引渡の費用は、「片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し」では無償譲渡が100%、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が95%（平均1,336円/個）、「フリマアプリで売却」では販売・売却が62%（平均1,334円/個）、無償譲渡が38%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の10.7%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の52.8%を占めると推計される。

図表 192 玩具・模型の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

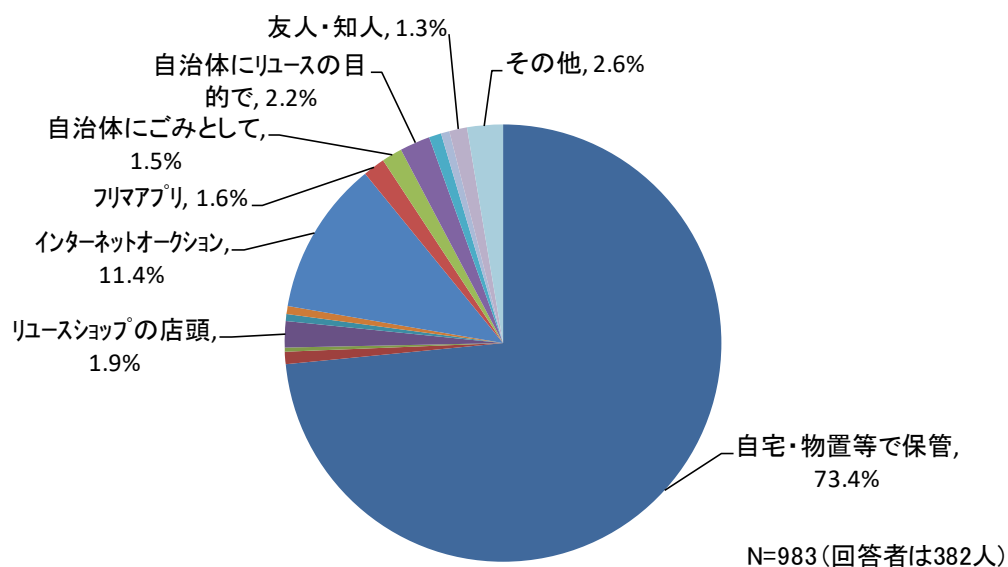
注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(11) カメラ・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったカメラ・周辺機器の個数は983個（382人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く73.4%、次いで「インターネットオークションで売却」が11.4%、「自治体にリユースの目的で」が2.2%と続く。

図表 193 不用となったカメラ・周辺機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

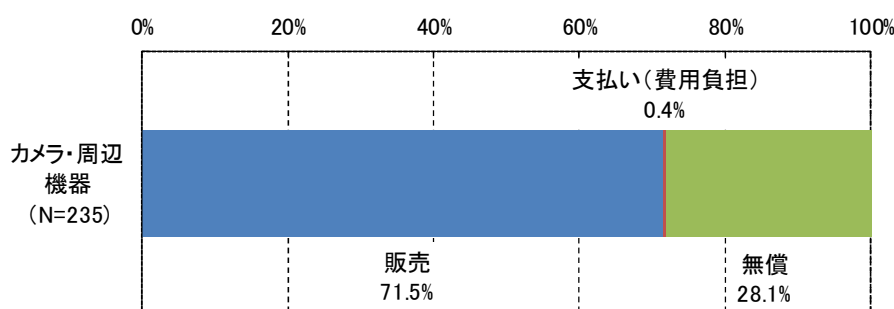
2) 不用品の排出における費用について

不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 71.5%、次いで「無償」が 28.1%、「支払い（費用負担）」は 0.4%となっている（図表 194）。また、「販売」の際の平均単価は 8,441 円/個、「支払い（費用負担）」は 400 円/個となっている（図表 195）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、そのうち「販売」が 98.2%（10,710 円/個）となっている。「自治体にリユースの目的で引渡し」では「無償」が 90.9%、「販売」が 9.1%（300 円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 89.5%（3,542 円/個）、「無償」が 10.5%となっている。

図表 194 排出・引渡時の費用について（カメラ・周辺機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 195 排出・引渡先別の割合・費用について（カメラ・周辺機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	722	73.4%							722	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	9	0.9%	8	88.9%	3,650	0	0.0%	—	1	11.1%
その他の小売店に引渡し・売却	3	0.3%	3	100.0%	8,667	0	0.0%	—	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	19	1.9%	17	89.5%	3,542	0	0.0%	—	2	10.5%
リユースショップの出張買取サービス	5	0.5%	4	80.0%	8,000	0	0.0%	—	1	20.0%
宅配で郵送する買取サービス	6	0.6%	6	100.0%	1,001	0	0.0%	—	0	0.0%
インターネットオークションで売却	112	11.4%	110	98.2%	10,710	0	0.0%	—	2	1.8%
フリマアプリで売却	16	1.6%	16	100.0%	5,038	0	0.0%	—	0	0.0%
自治体にごみとして排出	15	1.5%	1	6.7%	500	1	6.7%	400	13	86.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	22	2.2%	2	9.1%	300	0	0.0%	—	20	90.9%
市中の不用品回収業者に引渡し	9	0.9%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	9	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	-	-	—	-	—	—	-	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	6	0.6%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	6	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	—	-	—	—	-	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	—	-	—	—	-	—
友人・知人に譲渡・売却	13	1.3%	1	7.7%	5,000	0	0.0%	—	12	92.3%
その他	26	2.6%	-	-	—	-	—	—	-	—
合計	983	100.0%	168	17.6%	8,441	1	0.1%	400	788	82.3%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計

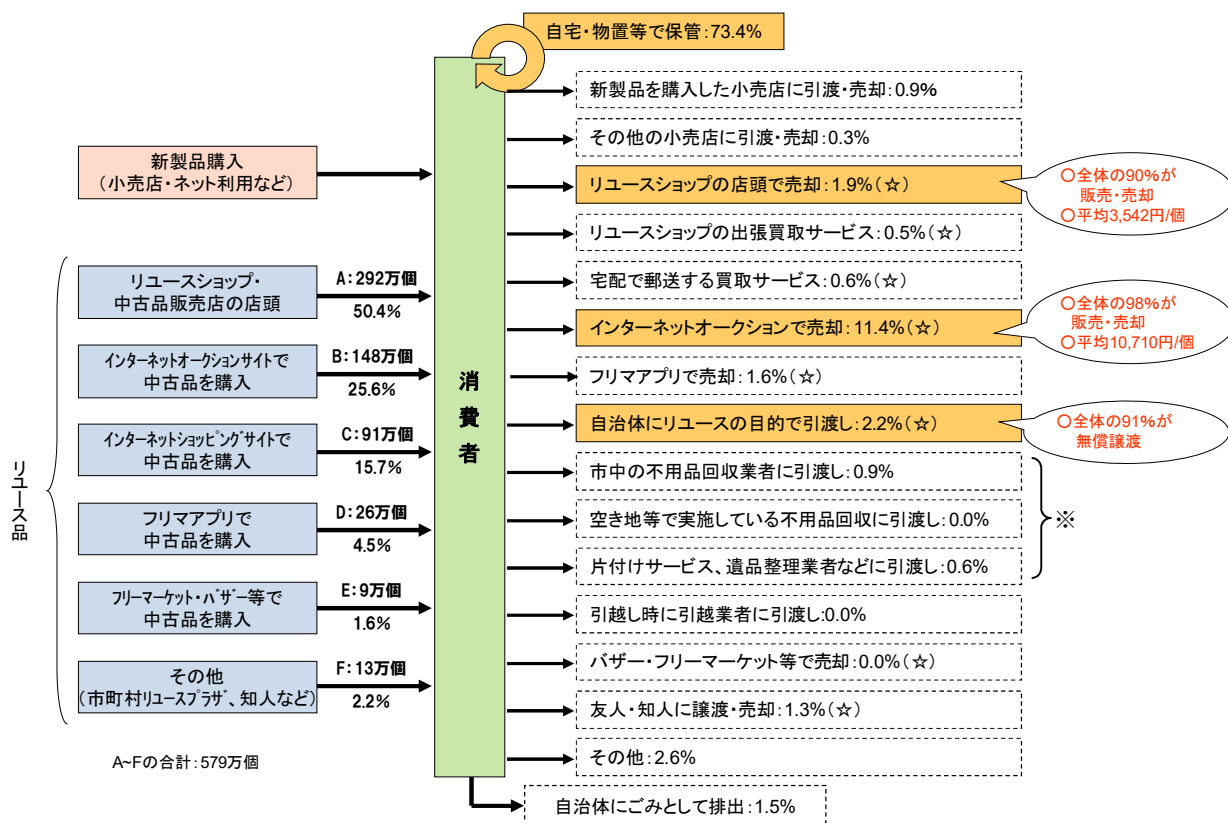
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカメラ・周辺機器は579万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が50.4%、292万個、「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが25.6%、148万個、「インターネットショッピングサイト」が15.7%、91万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く73.4%、次いで「インターネットオークションで売却」が11.4%、「自治体にリユースの目的で引渡し」が2.2%、「リユースショップの店頭で売却」が1.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が98%（平均10,710円/個）となっている。「自治体にリユースの目的で引渡し」では無償譲渡が91%、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が90%（平均3,542円/個）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の19.6%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の82.1%を占めると推計される。

図表 196 カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計

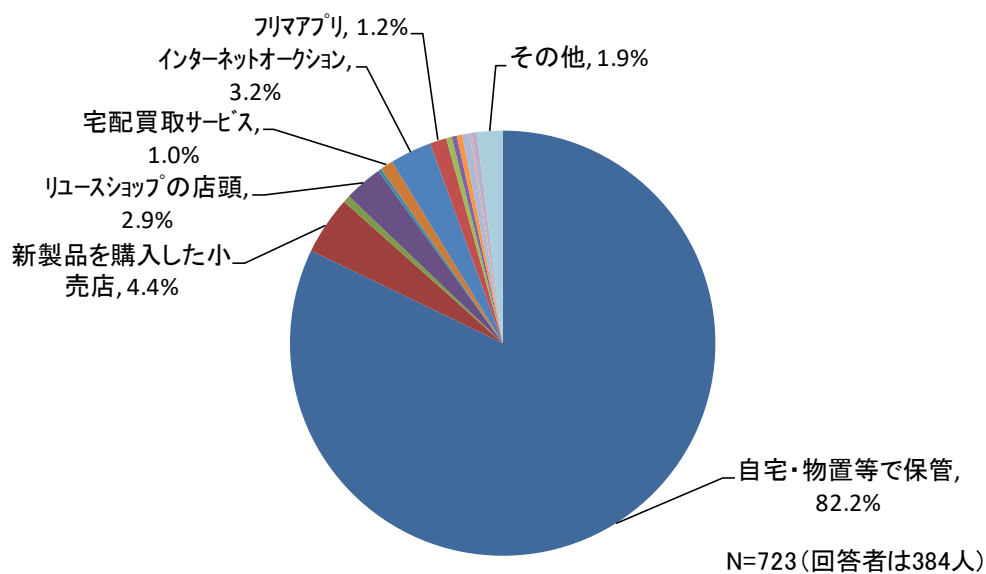


(12) 携帯電話・スマートフォン

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった携帯電話・スマートフォンの台数は723台(384人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く82.2%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が4.4%、「インターネットオークションで売却」が3.2%、「リユースショップの店頭で売却」が2.9%、「リユースショップの店頭で売却」が2.9%と続く。

図表 197 不用となった携帯電話・スマートフォンの排出先別の割合(台)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

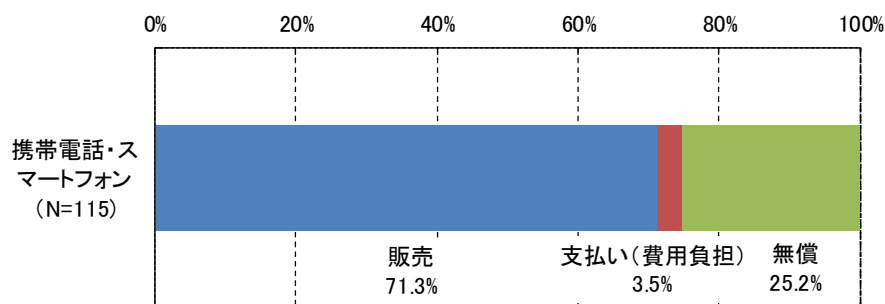
2) 不用品の排出における費用について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 71.3%、次いで「無償」が 25.2%、「支払い（費用負担）」は 3.5%となっている（図表 198）。また、「販売」の際の平均単価は 11,679 円/台、「支払い（費用負担）」は 225 円/台となっている（図表 199）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多くなっている。次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が続き、そのうち「販売」が 62.5%（15,536 円/台）、「無償」が 37.5%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 100.0%（16,175 円/台）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 85.7%（3,011 円/台）、「無償」が 14.3%となっている。

図表 198 排出・引渡時の費用について（携帯電話・スマートフォン）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 199 排出・引渡先別の割合・費用について（携帯電話・スマートフォン）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	594	82.2%							594	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	32	4.4%	20	62.5%	15,536	0	0.0%	—	12	37.5%
その他の小売店に引渡し・売却	4	0.6%	2	50.0%	11,400	0	0.0%	—	2	50.0%
リユースショップの店頭で売却	21	2.9%	18	85.7%	3,011	0	0.0%	—	3	14.3%
リユースショップの出張買取サービス	2	0.3%	1	50.0%	1,200	0	0.0%	—	1	50.0%
宅配で郵送する買取サービス	7	1.0%	6	85.7%	15,334	1	14.3%	600	0	0.0%
インターネットオークションで売却	23	3.2%	23	100.0%	16,175	0	0.0%	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	9	1.2%	9	100.0%	9,244	0	0.0%	—	0	0.0%
自治体にごみとして排出	3	0.4%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	3	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	3	0.4%	1	33.3%	1,500	0	0.0%	—	2	66.7%
市中の不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.4%	0	0.0%	—	3	100.0%	100	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	4	0.6%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	4	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.1%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	3	0.4%	2	66.7%	10,000	0	0.0%	—	1	33.3%
その他	14	1.9%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	723	100.0%	82	11.6%	11,679	4	0.6%	225	623	87.9%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した携帯電話・スマートフォンは295万台。

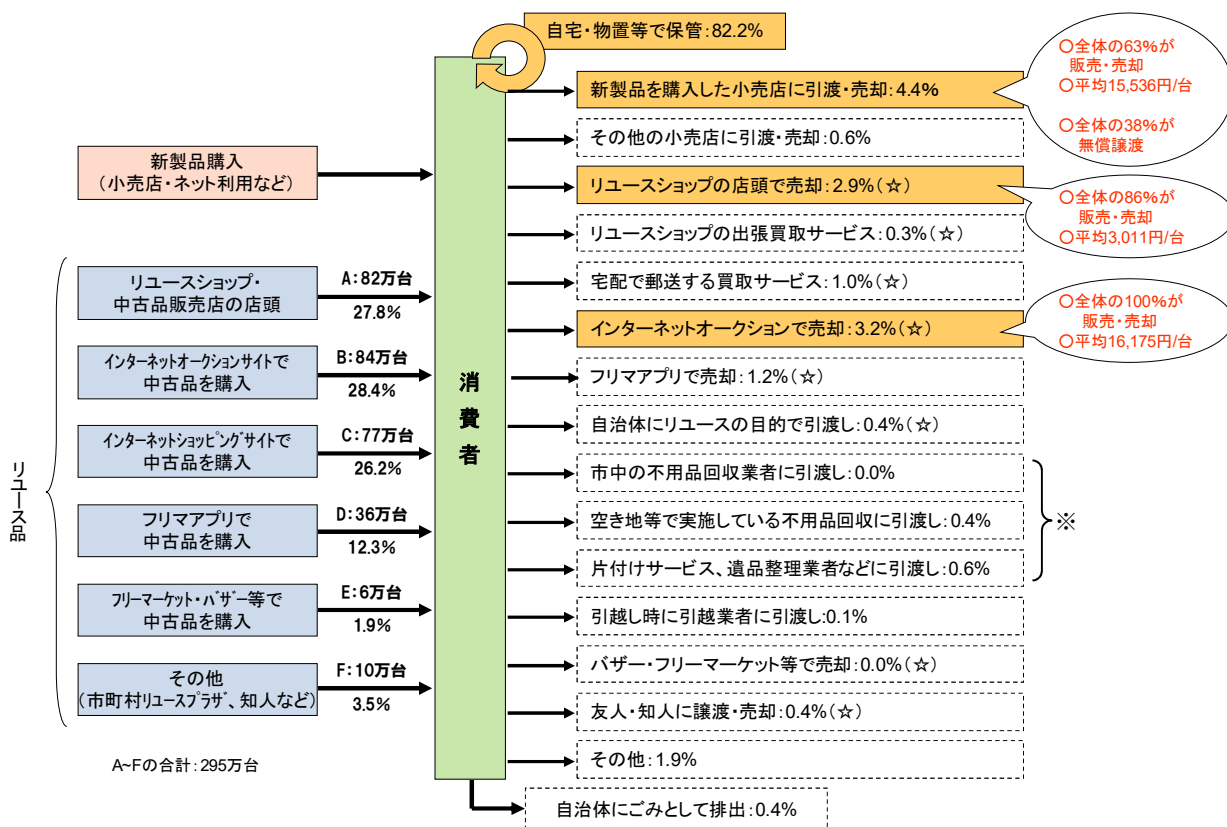
そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが28.4%、84万台、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が27.8%、82万台「インターネットショッピングサイト」が26.2%、77万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く82.2%、次いで「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が4.4%、「インターネットオークションで売却」が3.2%、「リユースショップの店頭で売却」が2.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では販売・売却が63%（平均15,536円/台）、無償譲渡が38%となっている。次いで「インターネットオークションで売却」では販売・売却が100%（平均16,175円/台）、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が86%（平均3,011円/台）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の9.4%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の59.1%を占めると推計される。

図表 200 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計

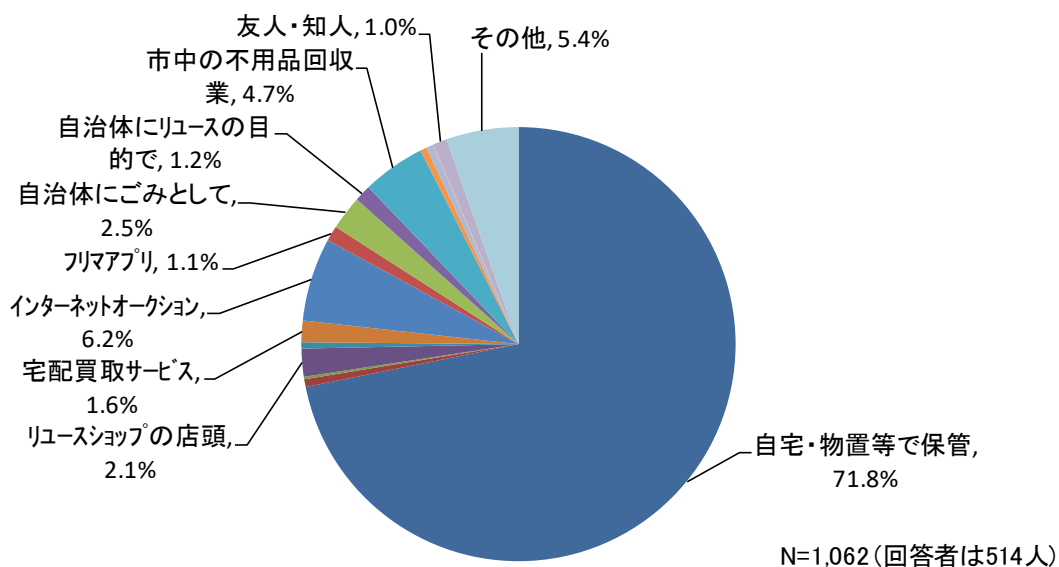


(13) パソコン・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったパソコン・周辺機器の個数は1,062個(514人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く71.8%、次いで「インターネットオークションで売却」が6.2%、「市中の不用品回収業者」が4.7%、「自治体にごみとして排出」が2.5%と続く。

図表 201 不用となったパソコン・周辺機器の排出先別の割合(個)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

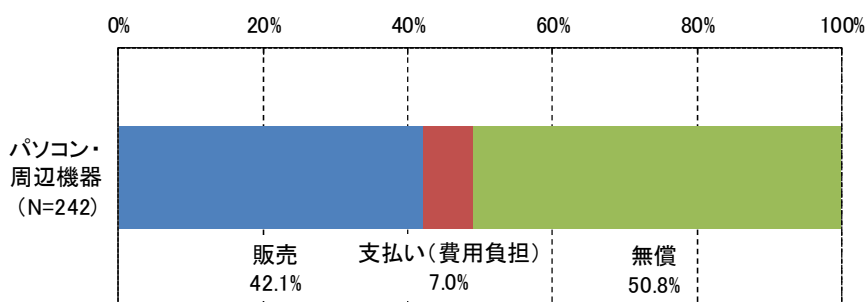
2) 不用品の排出における費用について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 50.8%、次いで「販売」が 42.1%、「支払い（費用負担）」は 7.0%となっている（図表 202）。また、「販売」の際の平均単価は 8,080 円/個、「支払い（費用負担）」は 2,085 円/個となっている（図表 203）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多い。次いで「インターネットオークションで売却」が続き、そのうち「販売」が 90.9%（8,337 円/個）、「無償」が 7.6%、「支払い（費用負担）」が 1.5%（1,000 円/個）となっている。「市中の不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 92.0%、「支払い（費用負担）」が 6.0%（3,000 円/個）、「販売」が 2.0%（2,000 円/個）、「自治体にごみとして排出」では、「無償」が 70.4%、「支払い（費用負担）」が 29.6%（988 円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 77.3%（4,488 円/個）、「無償」が 18.2%、「支払い（費用負担）」が 4.5%（2,000 円/個）となっている。

図表 202 排出・引渡時の費用について（パソコン・周辺機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 203 排出・引渡先別の割合・費用について（パソコン・周辺機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	763	71.8%							763	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	6	0.6%	4	66.7%	4,250	1	16.7%	540	1	16.7%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.2%	1	50.0%	50	0	0.0%	—	1	50.0%
リユースショップの店頭で売却	22	2.1%	17	77.3%	4,488	1	4.5%	2,000	4	18.2%
リユースショップの出張買取サービス	5	0.5%	5	100.0%	12,000	0	0.0%	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	17	1.6%	4	23.5%	2,025	0	0.0%	—	13	76.5%
インターネットオークションで売却	66	6.2%	60	90.9%	8,337	1	1.5%	1,000	5	7.6%
フリマアプリで売却	12	1.1%	10	83.3%	16,050	0	0.0%	—	2	16.7%
自治体にごみとして排出	27	2.5%	0	0.0%	—	8	29.6%	988	19	70.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	13	1.2%	0	0.0%	—	2	15.4%	4,500	11	84.6%
市中の不用品回収業者に引渡し	50	4.7%	1	2.0%	2,000	3	6.0%	3,000	46	92.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.5%	0	0.0%	—	1	20.0%	6,000	4	80.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	5	0.5%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	5	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.1%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	11	1.0%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	11	100.0%
その他	57	5.4%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,062	100.0%	102	10.1%	8,080	17	1.7%	2,085	886	88.2%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計

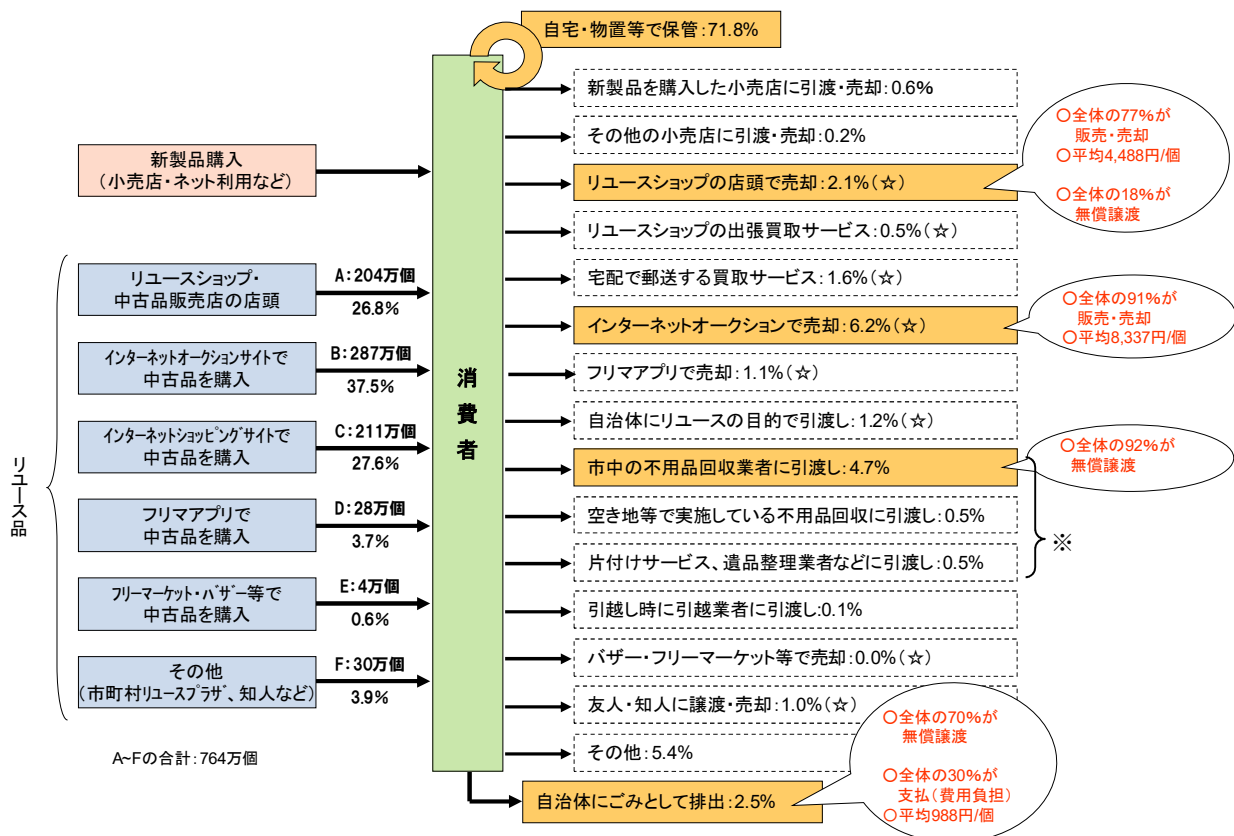
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したパソコン・周辺機器は764万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが37.5%、287万個、「インターネットショッピングサイト」が27.6%、211万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が26.8%、204万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く71.8%、次いで「インターネットオークションで売却」が6.2%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が4.7%、「自治体にごみとして排出」が2.5%、「リユースショップの店頭で売却」が2.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が91%（平均8,337円/個）、「市中の不用品回収業者に引渡し」では92%が無償譲渡、「自治体にごみとして排出」では70%が無償譲渡、30%が支払（費用負担）（平均988円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が77%（平均4,488円/個）、無償が18%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の13.7%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の60.3%を占めると推計される。

図表 204 パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

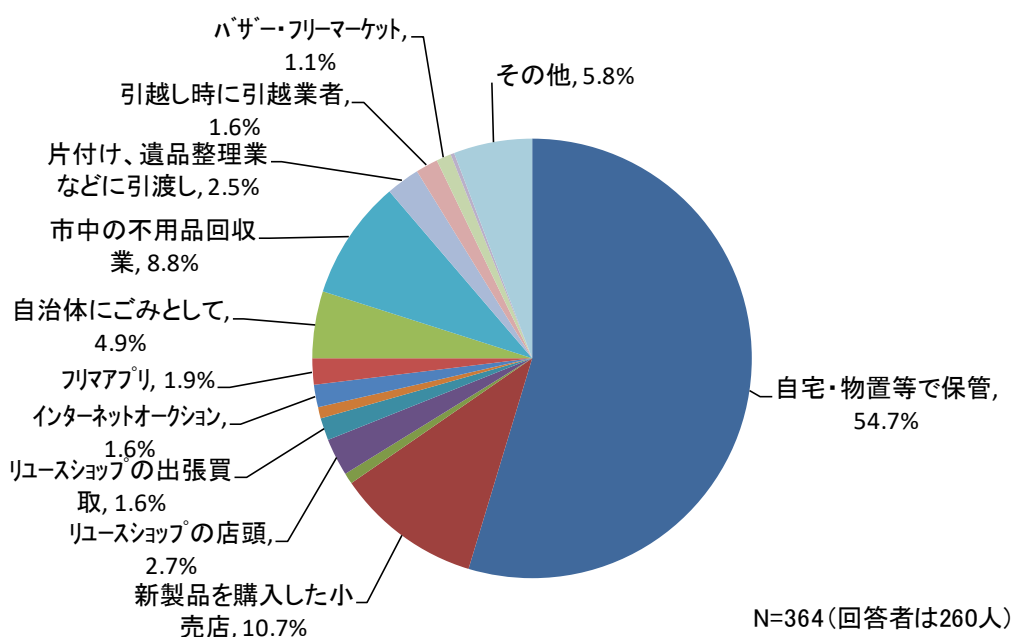
注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(14) 家電4品目（エアコン、テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫）

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家電4品目の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった家電4品目の台数は364台（260人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く54.7%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が10.7%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が8.8%、「自治体にごみとして排出」が4.9%、「リユースショップの店頭で売却」が2.7%、「片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し」が2.5%と続く。

図表 205 不用となった家電4品目の排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
 ※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

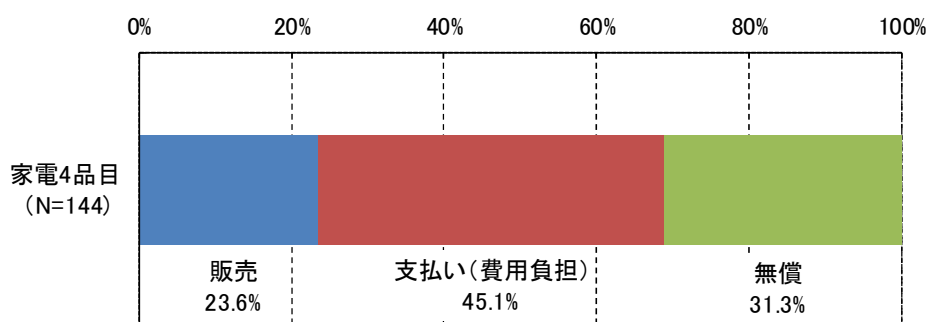
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家電4品目の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い（費用負担）」との回答が最も多く 45.1%、次いで「無償」が 31.3%、「販売」は 23.6%となっている（図表 206）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 3,174 円/台、「販売」は 2,824 円/台となっている（図表 207）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多い。次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「支払い（費用負担）」が 53.8%（2,571 円/台）、「無償」が 35.9%、「販売」が 10.3%（1,376 円/台）となっている。「市中の不用品回収業者に引渡し」では「支払い（費用負担）」が 65.6%（3,629 円/台）、「無償」が 18.8%、「販売」が 15.6%（2,200 円/台）となっている。「自治体にごみとして排出」では「支払い（費用負担）」が 44.4%（2,231 円/台）、「無償」が 44.4%となっている。

図表 206 排出・引渡時の費用について（家電4品目）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 207 排出・引渡先別の割合・費用について（家電4品目）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	199	54.7%	-	-	-	-	-	-	199	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	39	10.7%	4	10.3%	1,376	21	53.8%	2,571	14	35.9%
その他の小売店に引渡し・売却	3	0.8%	0	0.0%	-	1	33.3%	3,980	2	66.7%
リユースショップの店頭で売却	10	2.7%	8	80.0%	3,263	0	0.0%	-	2	20.0%
リユースショップの出張買取サービス	6	1.6%	2	33.3%	6,250	3	50.0%	1,089	1	16.7%
宅配で郵送する買取サービス	3	0.8%	1	33.3%	4,000	0	0.0%	-	2	66.7%
インターネットオークションで売却	6	1.6%	5	83.3%	1,600	0	0.0%	-	1	16.7%
フリマアプリで売却	7	1.9%	5	71.4%	5,300	1	14.3%	10,000	1	14.3%
自治体にごみとして排出	18	4.9%	2	11.1%	200	8	44.4%	2,231	8	44.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
市中の不用品回収業者に引渡し	32	8.8%	5	15.6%	2,200	21	65.6%	3,629	6	18.8%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	9	2.5%	0	0.0%	-	6	66.7%	2,667	3	33.3%
引越し時に引越業者に引渡し	6	1.6%	2	33.3%	1,000	4	66.7%	6,250	0	0.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	4	1.1%	0	0.0%	-	0	0.0%	-	4	100.0%
友人・知人に譲渡・売却	1	0.3%	0	0.0%	-	0	0.0%	-	1	100.0%
その他	21	5.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	364	100.0%	34	9.9%	2,824	65	19.0%	3,174	244	71.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家電4品目の排出・流通実態の推計

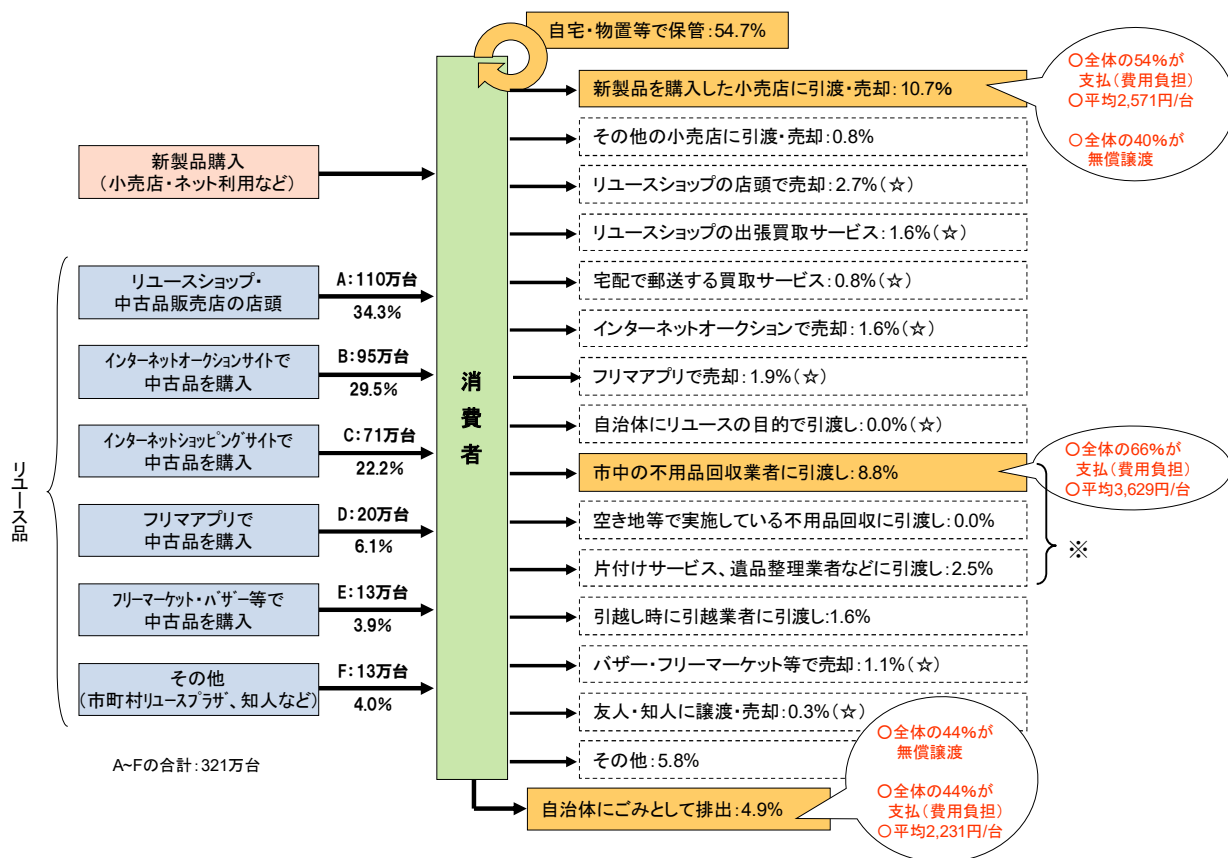
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家電4品目は321万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが34.3%、110万台、「インターネットオークションサイト」が29.5%、95万台「インターネットショッピングサイト」が22.2%、71万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった家電4品目の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く54.7%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が10.7%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が8.8%、「自治体にごみとして排出」が4.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では支払（費用負担）が54%（平均2,571円/台）、無償譲渡が40%、「市中の不用品回収業者に引渡し」では支払（費用負担）が66%（平均3,629円/台）となっている。「自治体にごみとして排出」では支払（費用負担）が44%（平均2,231円/個）、無償譲渡も44%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の10.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の25.7%を占めると推計される。

図表 208 家電4品目の排出・流通実態の推計

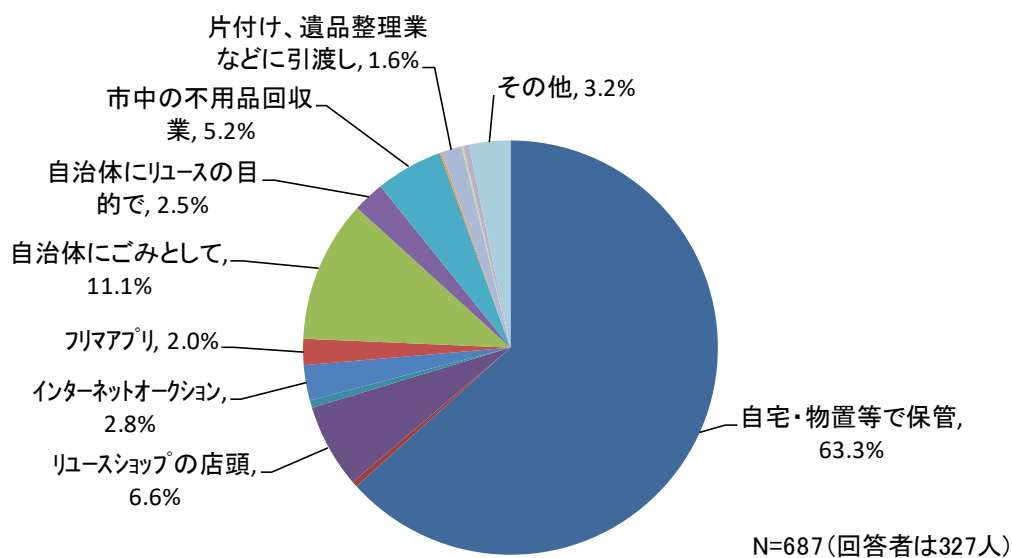


(15) その他の家電製品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の家電製品の台数は687台（327人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く63.3%、次いで「自治体にごみとして排出」が11.1%、「リユースショップの店頭で売却」が6.6%、「市中の不用品回収業」が5.2%、「インターネットオークション」が2.8%、「フリマアプリ」が2.0%、「自治体にリユースの目的で」2.5%、「片付け、遺品整理業などに引渡し」1.6%、「その他」3.2%と続く。

図表 209 不用となったその他の家電製品の排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

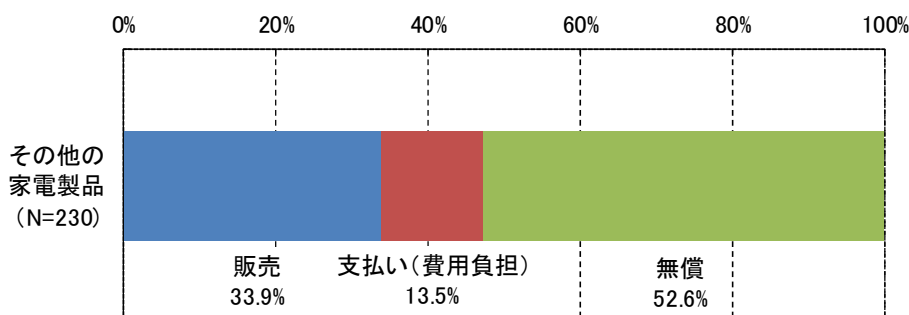
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 52.6%、次いで「販売」が 33.9%、「支払い（費用負担）」は 13.5%となっている（図表 210）。また、「販売」の際の平均単価は 2,469 円/台、「支払い（費用負担）」は 556 円/台となっている（図表 211）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして排出」が続き、そのうち「無償」が 81.6%、「支払い（費用負担）」が 14.5%（377 円/台）となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 91.1%（1,144 円/台）、「市中の不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 66.7%、「支払い（費用負担）」が 33.3%（800 円/台）、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 89.5%（3,053 円/台）となっている。

図表 210 排出・引渡時の費用について（その他の家電製品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 211 排出・引渡先別の割合・費用について（その他の家電製品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	435	63.3%							435	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	3	0.4%	1	33.3%	2,000	0	0.0%	—	2	66.7%
その他の小売店に引渡し・売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
リユースショップの店頭で売却	45	6.6%	41	91.1%	1,144	0	0.0%	—	4	8.9%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.6%	3	75.0%	4,167	0	0.0%	—	1	25.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	19	2.8%	17	89.5%	3,053	0	0.0%	—	2	10.5%
フリマアプリで売却	14	2.0%	11	78.6%	6,909	0	0.0%	—	3	21.4%
自治体にごみとして排出	76	11.1%	3	3.9%	250	11	14.5%	377	62	81.6%
自治体にリユースの目的で引渡し	17	2.5%	0	0.0%	—	7	41.2%	357	10	58.8%
市中の不用品回収業者に引渡し	36	5.2%	0	0.0%	—	12	33.3%	800	24	66.7%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.1%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	1	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	11	1.6%	1	9.1%	2,000	0	0.0%	—	10	90.9%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	1	0.1%	1	100.0%	500	0	0.0%	—	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	3	0.4%	0	0.0%	—	1	33.3%	1,000	2	66.7%
その他	22	3.2%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	687	100.0%	78	11.7%	2,469	31	4.7%	556	556	83.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の家電製品の排出・流通実態の推計

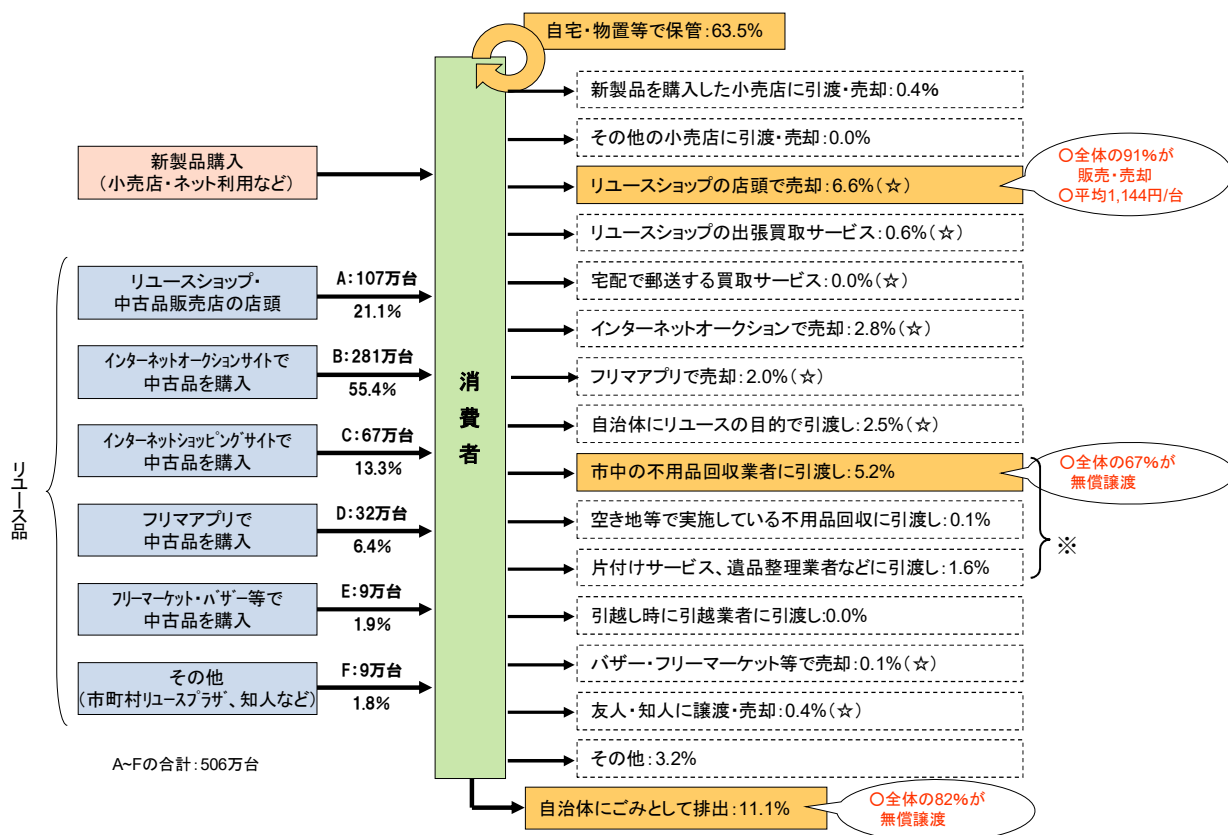
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他の家電製品は506万台、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入試したものが55.4%、281万台、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が21.1%、107万台、「インターネットショッピングサイト」が13.3%、67万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の家電製品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く63.5%、次いで「自治体にごみとして排出」が11.1%、「リユースショップの店頭で売却」が6.6%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が5.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償譲渡が82%を占めている。「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が91%（平均1,144円/台）、「市中の不用品回収業者に引渡し」では無償譲渡が67%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の15.0%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の44.8%を占めると推計される。

図表 212 その他の家電製品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

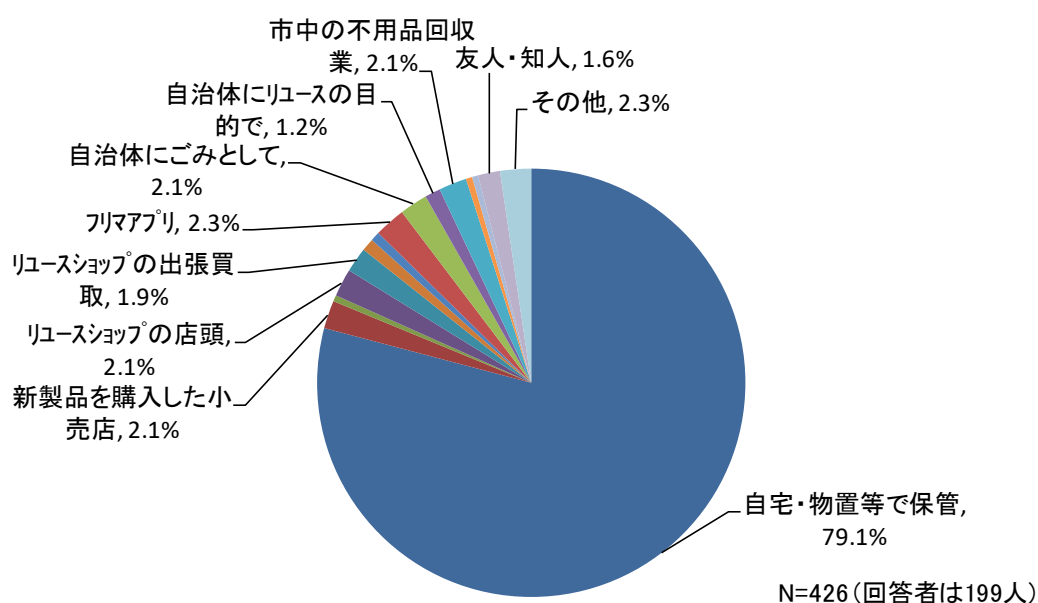
注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(16) 自転車、自転車部品・パーツ

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自転車、自転車部品・パーツの個数は426個（199人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く79.1%、次いで「フリマアプリで売却」が2.3%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」「リユースショップの店頭で売却」「自治体にごみとして排出」「市中の不用品回収業者に引渡し」がいずれも2.1%と続く。

図表 213 不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

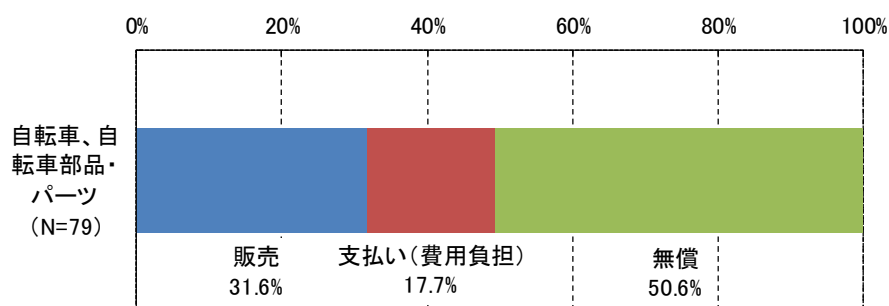
2) 不用品の排出における費用について

不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 50.6%、次いで「販売」が 31.6%、「支払い（費用負担）」は 17.7%となっている（図表 214）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 1,323 円/個、「販売」は 6,496 円/個となっている（図表 215）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「フリマアプリで売却」が続き、そのうち「販売」が 100.0%（5,000 円/個）となっている。「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「無償」が 55.6%、「支払い（費用負担）」が 33.3%（833 円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 66.7%（1,100 円/個）、「自治体にごみとして排出」では「無償」が 55.6%、「支払い（費用負担）」が 44.4%（600 円/個）、「市中の不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 55.6%、「支払い（費用負担）」が 44.4%（2,575 円/個）となっている。

図表 214 排出・引渡時の費用について（自転車、自転車部品・パーツ）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 215 排出・引渡先別の割合・費用について（自転車、自転車部品・パーツ）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	337	79.1%							337	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	9	2.1%	1	11.1%	300	3	33.3%	833	5	55.6%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.5%	0	0.0%	—	1	50.0%	1,000	1	50.0%
リユースショップの店頭で売却	9	2.1%	6	66.7%	1,100	1	11.1%	2,000	2	22.2%
リユースショップの出張買取サービス	8	1.9%	2	25.0%	41,000	0	0.0%	—	6	75.0%
宅配で郵送する買取サービス	4	0.9%	3	75.0%	4,667	0	0.0%	—	1	25.0%
インターネットオークションで売却	3	0.7%	3	100.0%	3,167	0	0.0%	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	10	2.3%	10	100.0%	5,000	0	0.0%	—	0	0.0%
自治体にごみとして排出	9	2.1%	0	0.0%	—	4	44.4%	600	5	55.6%
自治体にリユースの目的で引渡し	5	1.2%	0	0.0%	—	1	20.0%	320	4	80.0%
市中の不用品回収業者に引渡し	9	2.1%	0	0.0%	—	4	44.4%	2,575	5	55.6%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	2	0.5%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	2	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	2	0.5%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	2	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	7	1.6%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	7	100.0%
その他	10	2.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	426	100.0%	25	6.0%	6,496	14	3.4%	1,323	377	90.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

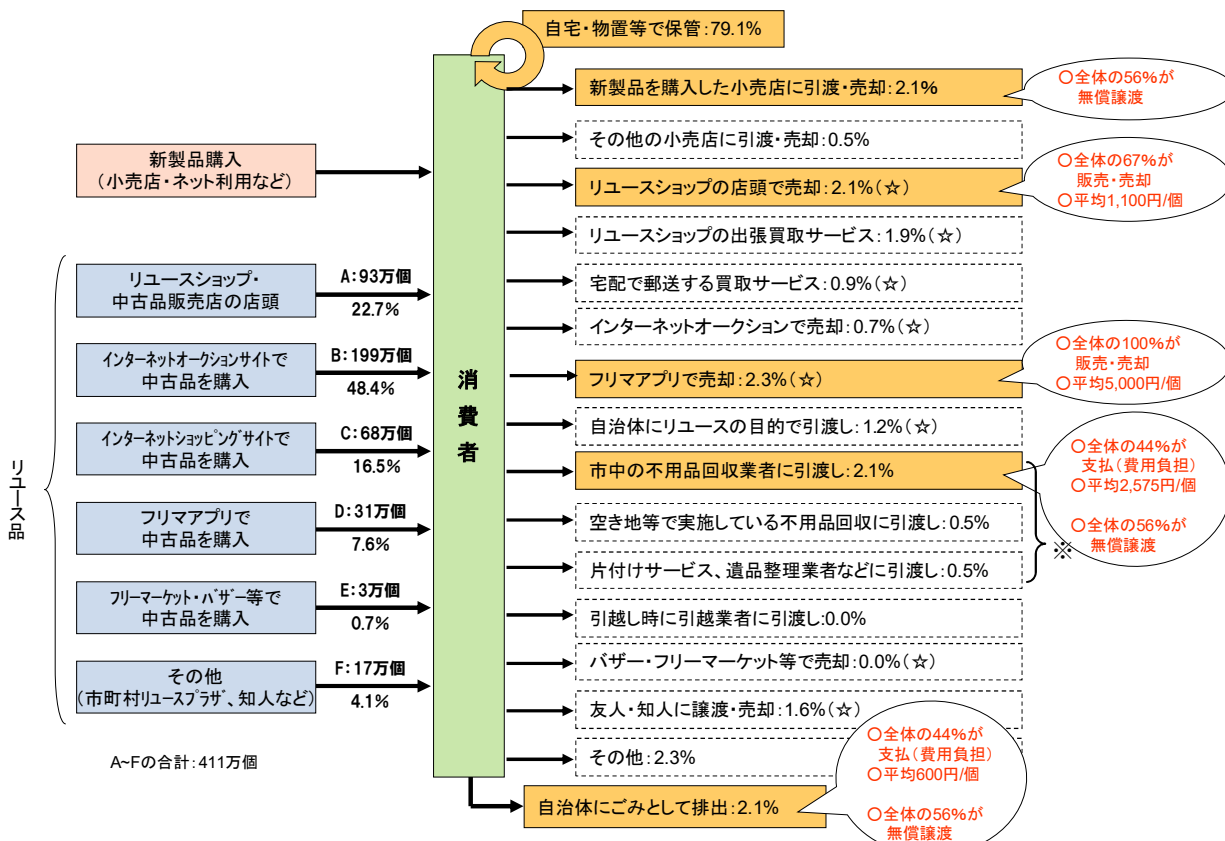
3) 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自転車、自転車部品・パーツは411万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが48.4%、199万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が22.7%、93万個、「インターネットショッピングサイト」が16.5%、68万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く79.1%、次いで「フリマアプリで売却」が2.3%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」「リユースショップの店頭で売却」「自治体にごみとして排出」「市中の不用品回収業者に引渡し」がいずれも2.1%と続く。排出・引渡の費用は、「フリマアプリで売却」では販売・売却が100%を占め、その費用は平均5,000円/個となっている。「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では無償譲渡が56%、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が67%（平均1,100円/個）、「自治体にごみとして排出」では支払（費用負担）が44%（平均600円/個）、無償譲渡が56%。「市中の不用品回収業者に引渡し」では支払い（費用負担）が44%（平均2,575円/個）、無償譲渡が56%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の10.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の58.2%を占めると推計される。

図表 216 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

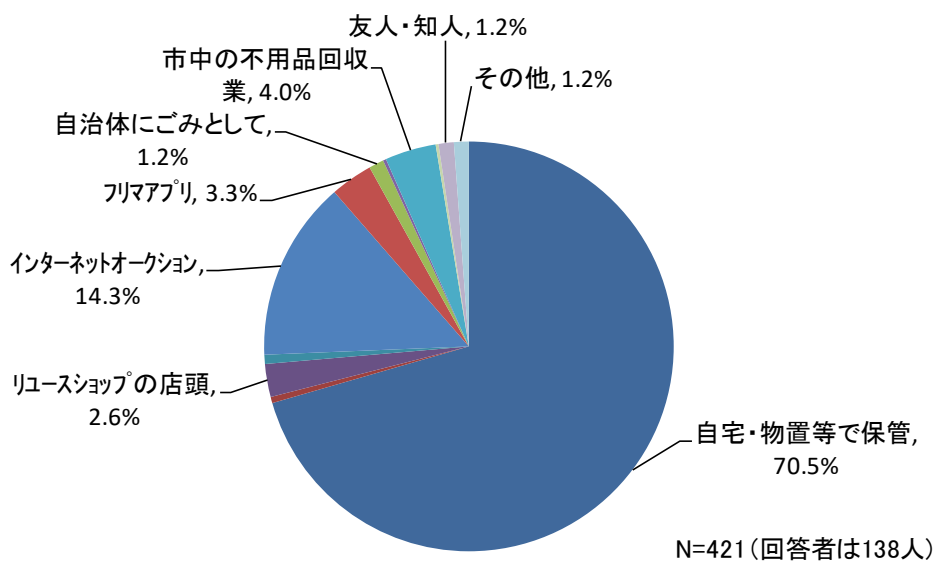
注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(17) カー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったカー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったカー用品の個数は421個（138人からの回答）。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く70.5%、次いで「インターネットオークションで売却」が14.3%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が4.0%、「フリマアプリで売却」が3.3%と続く。

図表 217 不用となったカー用品の排出先別の割合（個）



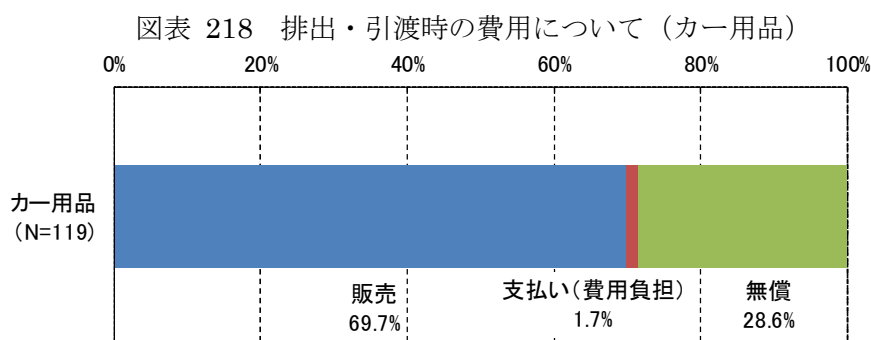
※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

不用となったカー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 69.7%、次いで「無償」が 28.6%、「支払い（費用負担）」は 1.7%となっている（図表 218）。また、「販売」の際の平均単価は 4,943 円/個、「支払い（費用負担）」は 11,000 円/個となっている（図表 219）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、86.7%が「販売」（5,526 円/個）となっている。「市中の不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 100.0%、「フリマアプリで売却」では「販売」が 100.0%（1,750 円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 100.0%（1,764 円/個）となっている。



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 219 排出・引渡先別の割合・費用について（カー用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	297	70.5%							297	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	2	0.5%	1	50.0%	1,000	0	0.0%	—	1	50.0%
その他の小売店に引渡し・売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
リユースショップの店頭で売却	11	2.6%	11	100.0%	1,764	0	0.0%	—	0	0.0%
リユースショップの出張買取サービス	3	0.7%	3	100.0%	22,667	0	0.0%	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	60	14.3%	52	86.7%	5,526	0	0.0%	—	8	13.3%
フリマアプリで売却	14	3.3%	14	100.0%	1,750	0	0.0%	—	0	0.0%
自治体にごみとして排出	5	1.2%	0	0.0%	—	1	20.0%	2,000	4	80.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	1	0.2%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	1	100.0%
市中の不用品回収業者に引渡し	17	4.0%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	17	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	1	0.2%	0	0.0%	—	1	100.0%	20,000	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	5	1.2%	2	40.0%	5,000	0	0.0%	—	3	60.0%
その他	5	1.2%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	421	100.0%	83	20.0%	4,943	2	0.5%	11,000	331	79.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カー用品の排出・流通実態の推計

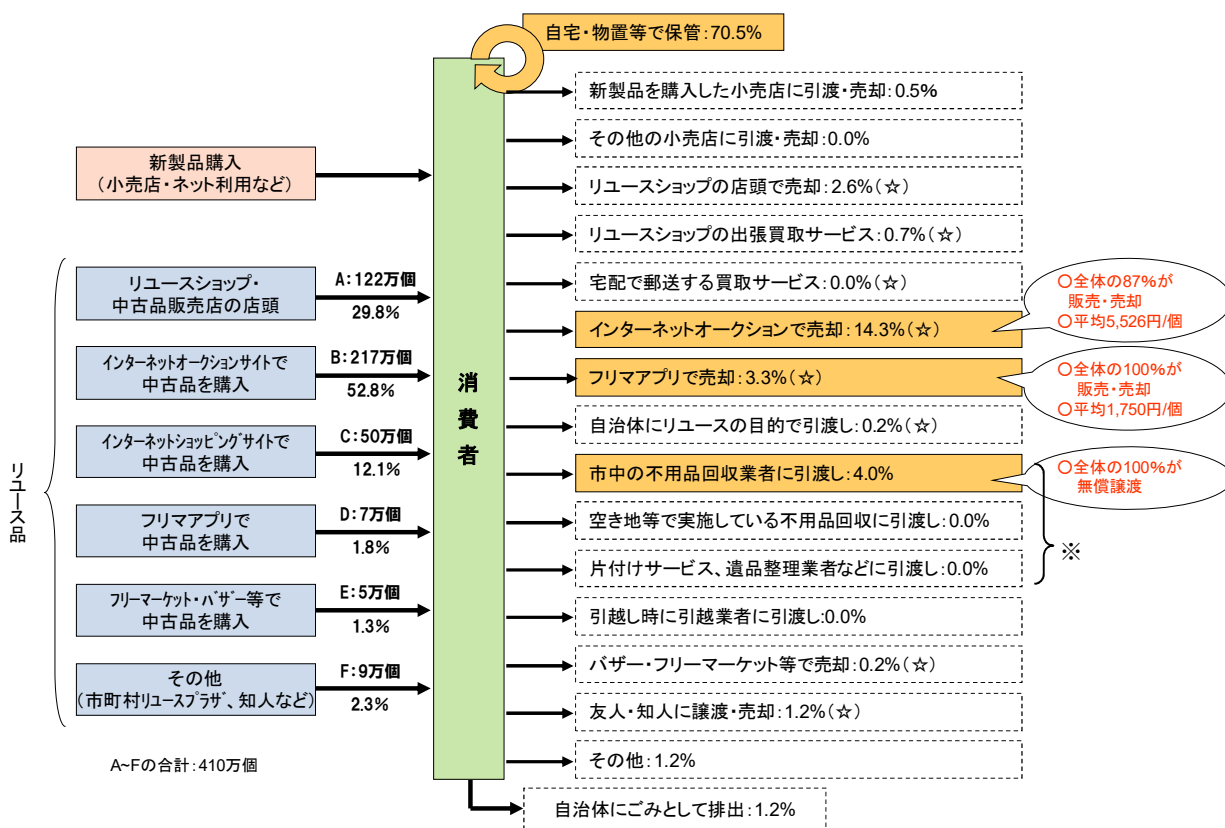
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカー用品は410万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが52.8%、217万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が29.8%、122万個、「インターネットショッピングサイト」が12.1%、50万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く70.5%、次いで「インターネットオークションで売却」が14.3%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が4.0%「フリマアプリで売却」が3.3%、と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は87%が販売・売却であり、その費用は平均5,526円/個となっている。「市中の不用品回収業者に引渡し」では100%が無償譲渡、「フリマアプリで売却」では100%が販売・売却（平均1,750円/個）となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の22.6%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の79.8%を占めると推計される。

図表 220 カー用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

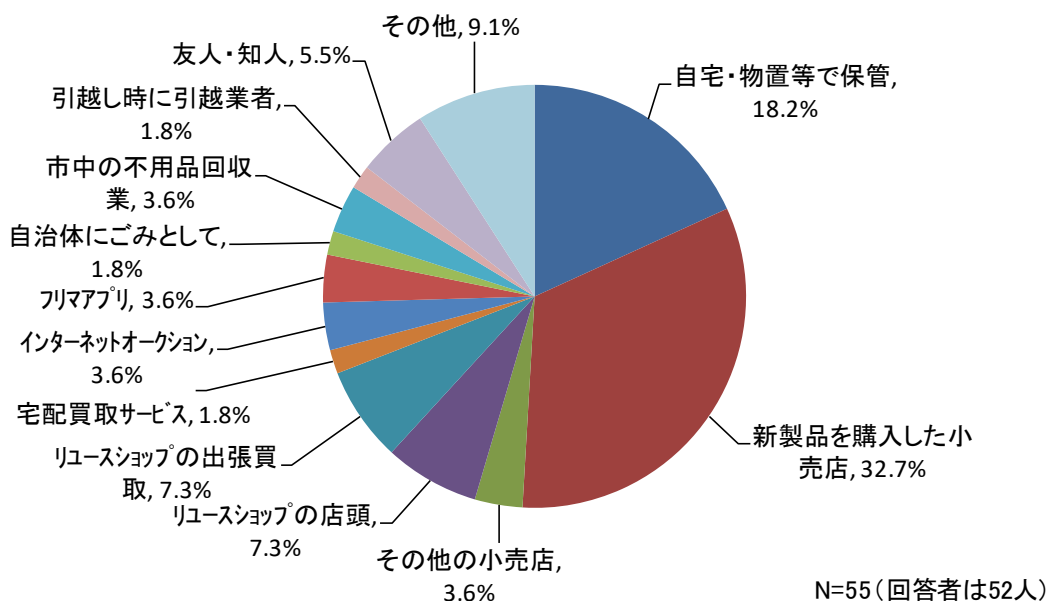
注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(18) 自動車

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自動車の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自動車の台数は55台(52人からの回答)、排出・引渡先は「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が最も多く32.7%、次いで「自宅・物置等で保管」が18.2%、「リユースショップの店頭で売却」と「リユースショップの出張買取サービスで売却」が共に7.3%、「友人・知人に譲渡・売却」が5.5%と続く。

図表 221 不用となった自動車の排出先別の割合(台)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
 ※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

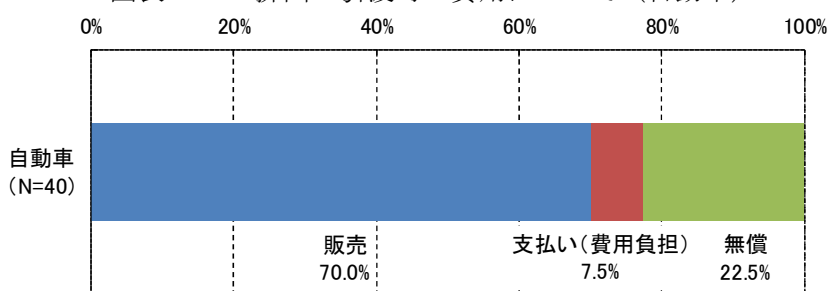
2) 不用品の排出における費用について

不用となった自動車の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く70.0%、次いで「無償」が22.5%、「支払い（費用負担）」は7.5%となっている（図表 222）。また、「販売」の際の平均単価は252,214 円/台、「支払い（費用負担）」は7,333 円/台となっている（図表 223）。

排出・引渡先別に見ると、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が最も多く、「販売」が77.8%（136,071 円/台）、「無償」が22.2%となっている。次いで「自宅・物置等で保管」が続く。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が100.0%（750,000 円/台）、「リユースショップの出張買取サービス」では「販売」が100.0%（380,000 円/台）となっている。「友人・知人に譲渡・売却」では、「無償」が66.7%、「販売」が33.3%（200,000 円/台）となっている。

図表 222 排出・引渡時の費用について（自動車）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 223 排出・引渡先別の割合・費用について（自動車）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	10	18.2%							10	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	18	32.7%	14	77.8%	136,071	0	0.0%	—	4	22.2%
その他の小売店に引渡し・売却	2	3.6%	1	50.0%	30,000	1	50.0%	8,000	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	4	7.3%	4	100.0%	750,000	0	0.0%	—	0	0.0%
リユースショップの出張買取サービス	4	7.3%	4	100.0%	380,000	0	0.0%	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	1	1.8%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	1	100.0%
インターネットオークションで売却	2	3.6%	1	50.0%	32,000	0	0.0%	—	1	50.0%
フリマアプリで売却	2	3.6%	2	100.0%	180,000	0	0.0%	—	0	0.0%
自治体にごみとして排出	1	1.8%	0	0.0%	—	1	100.0%	10,000	0	0.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
市中の不用品回収業者に引渡し	2	3.6%	1	50.0%	15,000	0	0.0%	—	1	50.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	1	1.8%	0	0.0%	—	1	100.0%	4,000	0	0.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	3	5.5%	1	33.3%	200,000	0	0.0%	—	2	66.7%
その他	5	9.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	55	100.0%	28	56.0%	252,214	3	6.0%	7,333	19	38.0%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自動車の排出・流通実態の推計

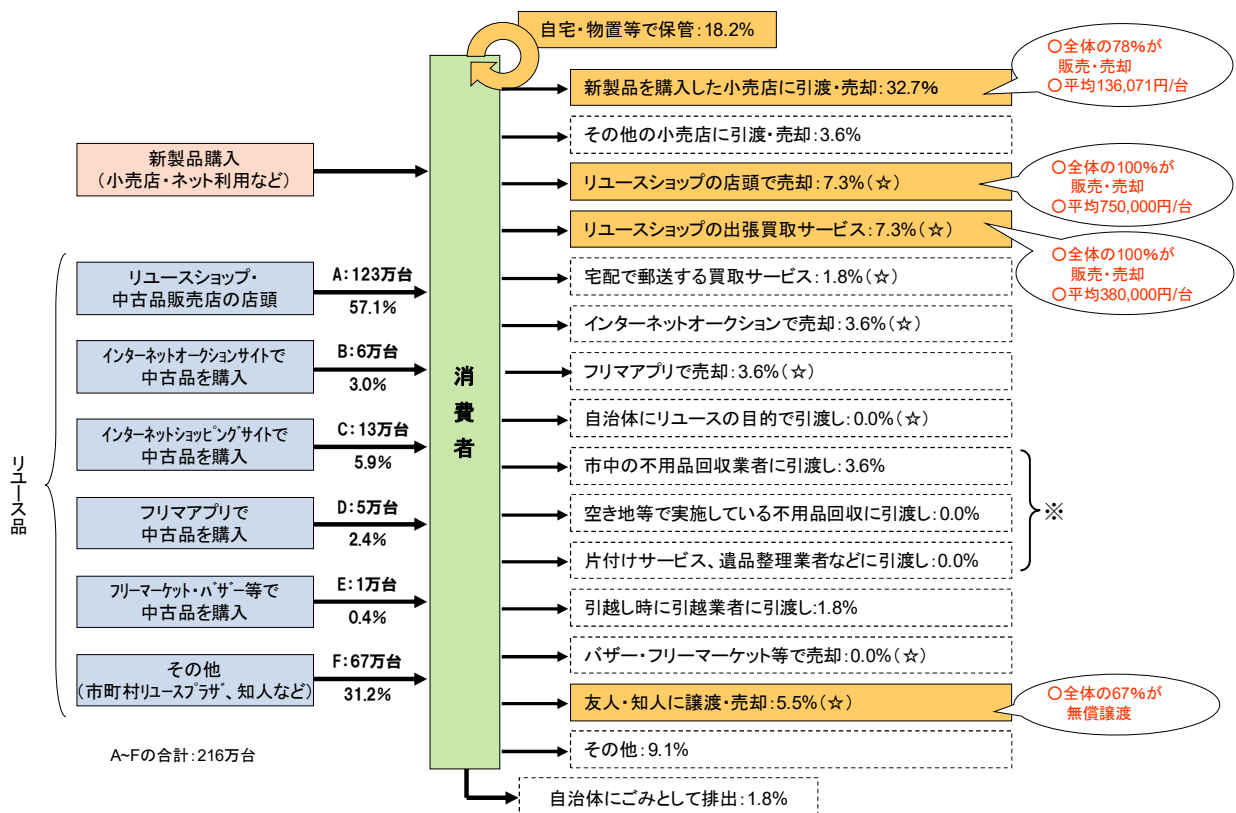
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自動車は216万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが57.1%、123万台、「その他」が31.2%、67万台、「インターネットショッピングサイト」が5.9%、13万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった自動車の排出・引渡について、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が最も多く32.7%、次いで「自宅・物置等で保管」が18.2%、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」がいずれも7.3%、「友人・知人に譲渡・売却」が5.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「新製品を購入した小売店に引渡し・売却」では販売・売却が78%（平均136,071円/台）、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が100%（平均750,000円/台）、「リユースショップの出張買取サービス」では販売・売却が100%（平均380,000円/台）、「友人・知人に譲渡・売却」では全体の67%が無償譲渡となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の29.1%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の40.0%を占めると推計される。

図表 224 自動車の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

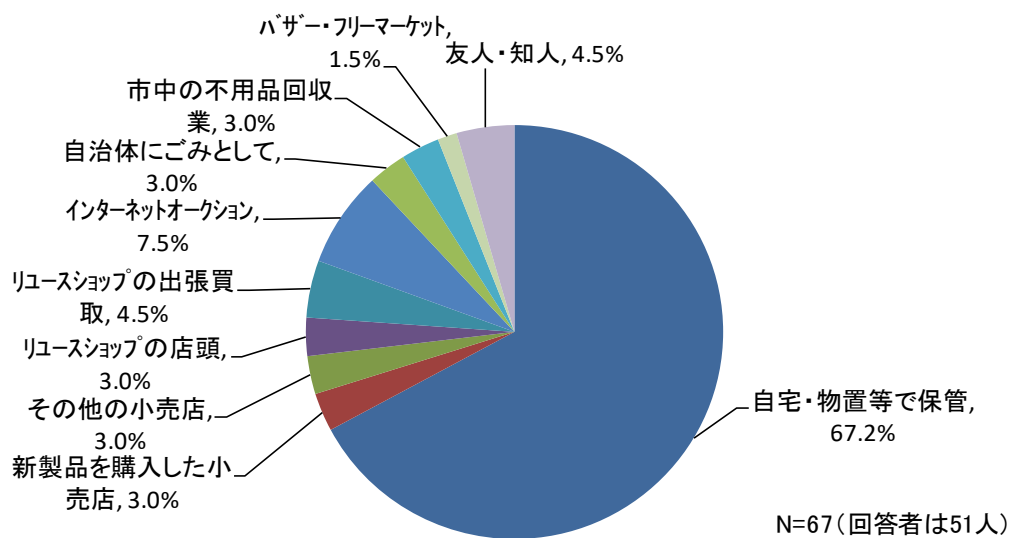
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

(19) バイク、原付バイク

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったバイク・原付バイクの台数は67台（51人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く67.2%、次いで「インターネットオークションで売却」が7.5%、「リユースショップの出張買取サービス」と「友人・知人に譲渡・売却」がいずれも4.5%と続く。

図表 225 不用となったバイク・原付バイクの排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

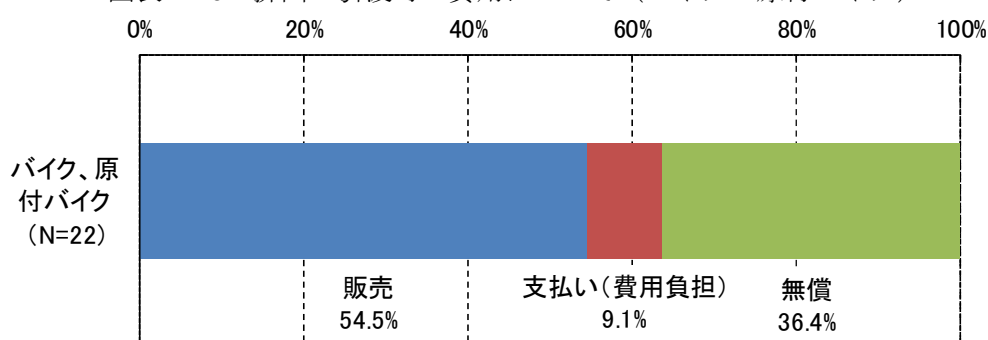
2) 不用品の排出における費用について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 54.5%、次いで「無償」が 36.4%、「支払い（費用負担）」は 9.1%となっている（図表 226）。また、「販売」の際の平均単価は 221,833 円/台、「支払い（費用負担）」は 5,000 円/台となっている（図表 227）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」では「販売」が 100.0%（70,000 円/台）となっている。次いで「リユースショップの出張買取サービス」では「販売」が 100.0%（735,000 円/台）、「友人・知人に譲渡・売却」では「販売」が 66.7%（1,000 円/台）、「無償」が 33.3%となっている。

図表 226 排出・引渡時の費用について（バイク・原付バイク）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 227 排出・引渡先別の割合・費用について（バイク・原付バイク）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	45	67.2%							45	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	2	3.0%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	2	100.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	3.0%	1	50.0%	95,000	0	0.0%	—	1	50.0%
リユースショップの店頭で売却	2	3.0%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	2	100.0%
リユースショップの出張買取サービス	3	4.5%	3	100.0%	735,000	0	0.0%	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	5	7.5%	5	100.0%	70,000	0	0.0%	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
自治体にごみとして排出	2	3.0%	0	0.0%	—	0	0.0%	—	2	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
市中の不用品回収業者に引渡し	2	3.0%	0	0.0%	—	2	100.0%	5,000	0	0.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	1	1.5%	1	100.0%	10,000	0	0.0%	—	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	3	4.5%	2	66.7%	1,000	0	0.0%	—	1	33.3%
その他	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	67	100.0%	12	17.9%	221,833	2	3.0%	5,000	53	79.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計

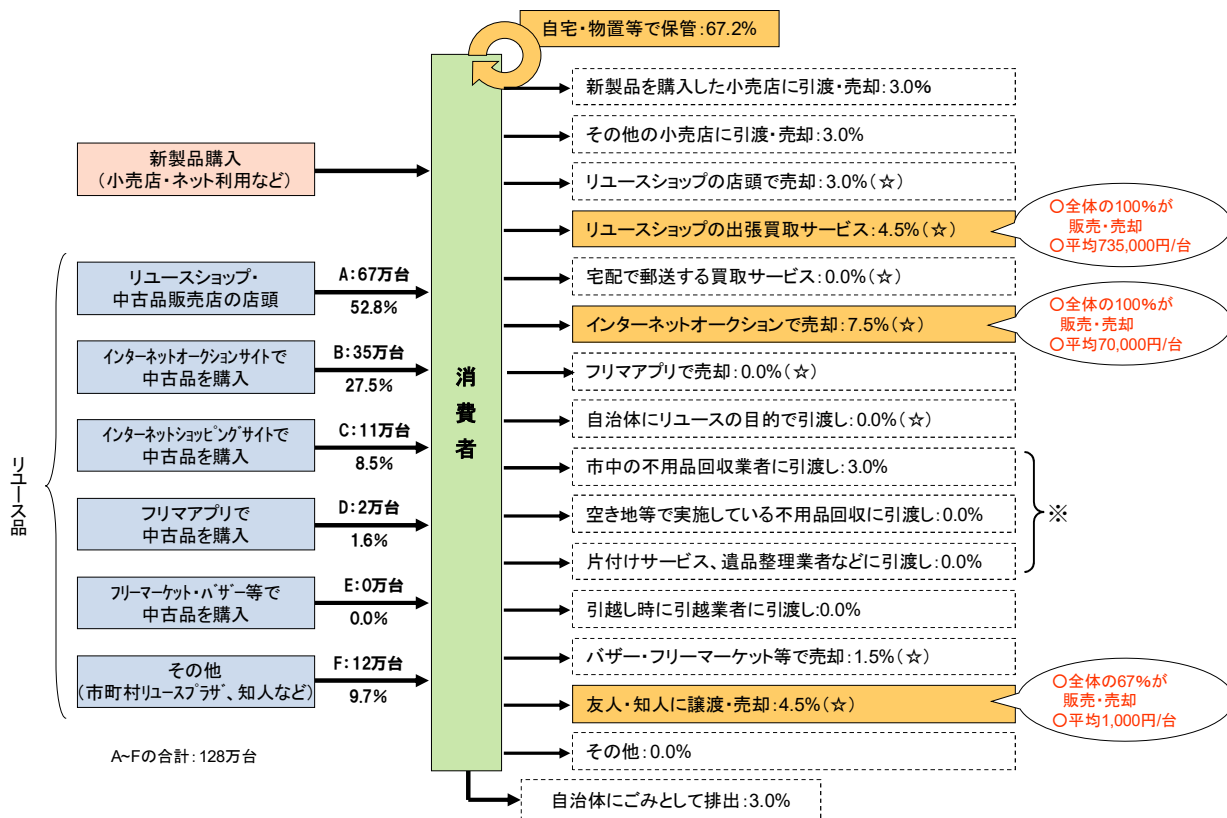
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したバイク・原付バイクは128万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが52.8%、67万台、「インターネットオークションサイト」が27.5%、35万台、「その他」が9.7%、12万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く67.2%、次いで「インターネットオークションで売却」が7.5%、「リユースショップの出張買取サービス」と「友人・知人に譲渡・売却」がともに4.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が100%を占め、平均70,000円/台となっている。「リユースショップの出張買取サービス」では100%が販売・売却（平均735,000円/台）、「友人・知人に譲渡・売却」では67%が販売・売却（平均1,000円/台）となる。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の20.9%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の63.6%を占めると推計される。

図表 228 バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。
 注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
 (詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。